

# 平成29年度 財政状況資料集

## 総括表（都道府県）

都道府県名	福井県		職員の状況（※7）				区分		平成29年度(千円)	平成28年度(千円)	区分		平成29年度(千円・%)	平成28年度(千円・%)
			区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)		歳入総額	歳出総額	実質収支比率					
グループ	C		知事	1	13,000		歳入歳出差引	10,178,995	7,826,889	(※1)	(104.7)	(103.7)		
人口	27年国調(人)	786,740	副知事	2	10,200		翌年度に繰越すべき財源	6,413,670	4,070,794	標準財政規模	256,055,887	259,902,102		
	22年国調(人)	806,314	教育長	1	8,900		実質収支	3,765,325	3,756,095	財政力指数	0.40661	0.39353		
	増減率(%)	-2.4	議会議長	1	9,100		単年度収支	9,230	-345,812	公債費負担比率	23.4	24.0		
住民基本台帳人口(※6)	30.01.01(人)	790,758	議会副議長	1	8,600		積立金	3,002,773	3,679	健全化判断比率				
	うち日本人(人)	777,330	議会議員	35	7,800		繰上償還金	0	0	実質赤字比率	-	-		
	29.01.01(人)	794,433	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	積立金取崩し額	7,301,208	2,533,732	連結実質赤字比率	-	-		
	うち日本人(人)	782,230	一般職員	3,925	12,960,350	3,302	実質単年度収支	-4,289,205	-2,875,865	実質公債費比率	13.3	13.8		
	増減率(%)	-0.5	うち消防職員	-	-	-	基準財政収入額	86,477,243	90,038,553	将来負担比率	169.2	164.9		
面積(km <sup>2</sup> )	4,191		うち技能労務職員	43	128,355	2,985	基準財政需要額	213,012,373	217,014,791	資金不足比率(※4)				
	人口密度(人/km <sup>2</sup> )	189		うち警察官	1,757	5,546,849	3,157	標準税収入額等	108,691,496		113,321,172			
世帯数(世帯)	279,687		教育公務員	6,806	25,807,890	3,792	経常経費充当一般財源等	246,465,885	245,977,736					
			臨時職員	-	-	-	歳入一般財源等	325,349,121	319,590,260					
			合計	12,488	44,315,089	3,549	地方債現在高	819,458,666	834,655,880					
			ラスパイレズ指数	99.9			うち公的資金	200,305,720	233,109,589					
							債務負担行為額(支出予定額)	23,943,442	23,522,818					
							収益事業収入	1,884,081	2,194,948					
							定額運用基金	19,044,998	22,398,399					
							土地開発基金	3,505,698	6,601,559					
							積立金現在高	財政調整基金	8,389,712	12,688,147				
								減債基金	2,964,195	2,949,872				
								その他特定目的基金	27,347,086	34,207,216				

一般会計等の一覧 項番	会計名	事業会計の一覧 項番	会計名	公営企業(法適)の一覧 項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧 項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番	団体名	(※3)
(1)	一般会計	(11)	駐車場整備事業特別会計	(12)	病院事業会計	(17)	下水道事業特別会計			(19)	若狭湾エネルギー研究センター	
(2)	公債管理特別会計			(13)	工業用水道事業会計	(18)	港湾整備事業特別会計			(20)	日下部・グリフィス学術・文化交流基金	
(3)	用品等集中管理事業特別会計			(14)	水道用水供給事業会計					(21)	福井県アジア人材基金	
(4)	災害救助基金特別会計			(15)	臨海下水道事業会計					(22)	福井県国際交流協会	
(5)	母子寡婦福祉資金貸付金特別会計			(16)	臨海工業用地等造成事業会計					(23)	ふくい女性財団	
(6)	中小企業支援資金貸付金特別会計									(24)	青少年育成福井県民会議	
(7)	沿岸漁業改善資金貸付金特別会計									(25)	福井原子力センター	
(8)	林業改善資金貸付金特別会計									(26)	福井県消防協会	
(9)	県有林事業特別会計									(27)	福井県アイバンク	
(10)	用地先行取得事業特別会計									(28)	福井県臓器移植推進財団	

(注釈) ※1：経常収支比率の( )内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。

※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。

※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。

※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。

※5：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。

※6：人口については、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※7：職員の状況については、地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において平成30年調査結果が未公表であるため、前年度の数値を引用している。

(1) 普通会計の状況 (都道府県)

歳入の状況 (単位 千円・%)					道府県税の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	120,537,658	26.1	93,674,315	39.8	普通税	120,525,520	100.0	476,871	
地方譲与税	13,618,815	3.0	13,618,815	5.8	法定普通税	110,643,314	91.8	476,871	
地方揮発油譲与税	1,712,791	0.4	1,712,791	0.7	道府県民税	32,602,577	27.0	476,871	
地方道路譲与税	-	-	-	-	個人均等割	620,150	0.5	-	
特別とん譲与税	-	-	-	-	所得割	26,025,512	21.6	-	
石油ガス譲与税	95,238	0.0	95,238	0.0	法人均等割	1,050,206	0.9	-	
航空機燃料譲与税	325	0.0	325	0.0	法人税割	2,610,656	2.2	476,871	
地方法人特別譲与税	11,810,461	2.6	11,810,461	5.0	利子割	451,935	0.4	-	
市町村たばこ税都道府県交付金	-	-	-	-	配当割	901,718	0.7	-	
地方特例交付金	289,451	0.1	289,451	0.1	株式等譲渡所得割	942,400	0.8	-	
地方交付税	130,455,067	28.3	126,367,088	53.7	事業税	25,423,224	21.1	-	
普通交付税	126,367,088	27.4	126,367,088	53.7	個人分	900,073	0.7	-	
特別交付税	4,077,636	0.9	-	-	法人分	24,523,151	20.3	-	
震災復興特別交付税	10,343	0.0	-	-	地方消費税	28,412,676	23.6	-	
(一般財源計)	264,900,991	57.4	233,949,669	99.4	不動産取得税	1,756,513	1.5	-	
交通安全対策特別交付金	206,393	0.0	206,393	0.1	道府県たばこ税	848,107	0.7	-	
分担金・負担金	5,864,028	1.3	-	-	ゴルフ場利用税	228,114	0.2	-	
使用料	4,158,647	0.9	929,481	0.4	自動車取得税	1,377,317	1.1	-	
手数料	1,391,617	0.3	14,628	0.0	軽油引取税	7,966,894	6.6	-	
国庫支出金	74,253,668	16.1	-	-	自動車税	12,025,806	10.0	-	
国有提供交付金	-	-	-	-	鉦区税	2,086	0.0	-	
財産収入	823,433	0.2	239,037	0.1	固定資産税特例	-	-	-	
寄附金	227,283	0.0	-	-	法定外普通税	9,882,206	8.2	-	
繰入金	21,966,585	4.8	-	-	目的税	12,138	0.0	-	
繰越金	7,826,889	1.7	-	-	法定目的税	12,138	0.0	-	
諸収入	18,933,887	4.1	11,210	0.0	狩猟税	12,138	0.0	-	
地方債	60,843,185	13.2	-	-	法定外目的税	-	-	-	
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-	
うち臨時財政対策債	20,997,000	4.6	-	-	合計	120,537,658	100.0	476,871	
歳入合計	461,396,606	100.0	235,350,418	100.0					

区分		平成29年度		平成28年度	
徴収率	現・計	99.6	98.6	99.5	98.4
(%)	年・計	99.0	95.9	98.9	95.4
		99.9	99.8	99.9	99.8

(注釈)  
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、  
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
議会費	954,261	0.2	-	950,611
総務費	44,317,041	9.8	19,861,073	27,899,052
民生費	53,642,725	11.9	1,732,474	47,421,861
衛生費	12,668,168	2.8	1,787,829	8,815,078
労働費	1,090,502	0.2	13,100	712,633
農林水産業費	33,515,414	7.4	20,026,307	13,043,180
商工費	14,275,902	3.2	3,107,079	7,425,414
土木費	70,478,752	15.6	60,052,830	23,541,049
警察費	21,651,606	4.8	1,117,210	19,823,382
消防費	-	-	-	-
教育費	96,104,389	21.3	5,279,036	72,533,230
災害復旧費	1,576,069	0.3	-	96,985
公債費	84,438,515	18.7	-	76,403,384
諸支出金	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-
利子割交付金	263,717	0.1	-	263,717
配当割交付金	536,065	0.1	-	536,065
株式等譲渡所得割交付金	559,173	0.1	-	559,173
分離課税所得割交付金	-	-	-	-
道府県民税所得割臨時交付金	-	-	-	-
地方消費税交付金	14,115,535	3.1	-	14,115,535
ゴルフ場利用税交付金	160,520	0.0	-	160,520
特別地方消費税交付金	-	-	-	-
自動車取得税交付金	869,257	0.2	-	869,257
軽油引取税交付金	-	-	-	-
特別区財政調整交付金	-	-	-	-
歳出合計	451,217,611	100.0	112,976,938	315,170,126

性質別歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	209,865,817	46.5	183,313,745	180,681,549	70.5
人件費	115,369,322	25.6	99,596,836	96,969,262	37.8
うち職員給	83,894,574	18.6	69,043,030	68,826,786	26.8
扶助費	10,263,696	2.3	7,519,241	7,514,619	2.9
公債費	84,232,799	18.7	76,197,668	76,197,668	29.7
元利償還金	84,232,799	18.7	76,197,668	76,197,668	29.7
内 うち元金	76,040,399	16.9	68,273,482	68,273,482	26.6
内 うち利子	8,192,400	1.8	7,924,186	7,924,186	3.1
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	126,798,787	28.1	99,615,616	65,784,336	25.7
物件費	20,560,327	4.6	15,118,598	13,514,778	5.3
維持補修費	3,460,649	0.8	3,229,827	3,220,676	1.3
補助費等	85,643,766	19.0	75,894,122	49,025,492	19.1
繰出金	1,988,748	0.4	1,936,979	-	-
積立金	7,369,228	1.6	1,756,581	-	-
投資及び出資金	2,013,640	0.4	1,610,898	-	-
貸付金	5,762,429	1.3	68,611	23,390	0.0
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	114,553,007	25.4	32,240,765	-	-
うち人件費	1,226,153	0.3	1,226,153	-	-
普通建設事業費	112,976,938	25.0	32,143,780	-	-
うち補助	58,320,858	12.9	5,076,616	-	-
うち単独	46,410,603	10.3	26,305,357	-	-
災害復旧事業費	1,576,069	0.3	96,985	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	451,217,611	100.0	315,170,126	-	-



(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（都道府県）

平成29年度 福井県

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	475,712	466,674	9,038	3,314	1,369	856,793	
2 公債管理特別会計	109,099	109,099	-	-	79,521		
3 用品等集中管理事業特別会計	370	326	44	44			
4 災害救助基金特別会計	15	15	-	-			
5 母子寡婦福祉資金貸付金特別会計	172	28	144	-		348	
6 中小企業支援資金貸付金特別会計	5,851	5,726	125	-	48	2,670	
7 沿岸漁業改善資金貸付金特別会計	301	3	298	-			
8 林業改善資金貸付金特別会計	124	-	124	-			
9 県有林事業特別会計	869	869	-	-	754	866	
10 用地先行取得事業特別会計	613	613	-	-		176	
11 証紙特別会計	3,628	3,221	407	407			
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
2							



# (3) 都道府県財政比較分析表(普通会計決算)

平成29年度

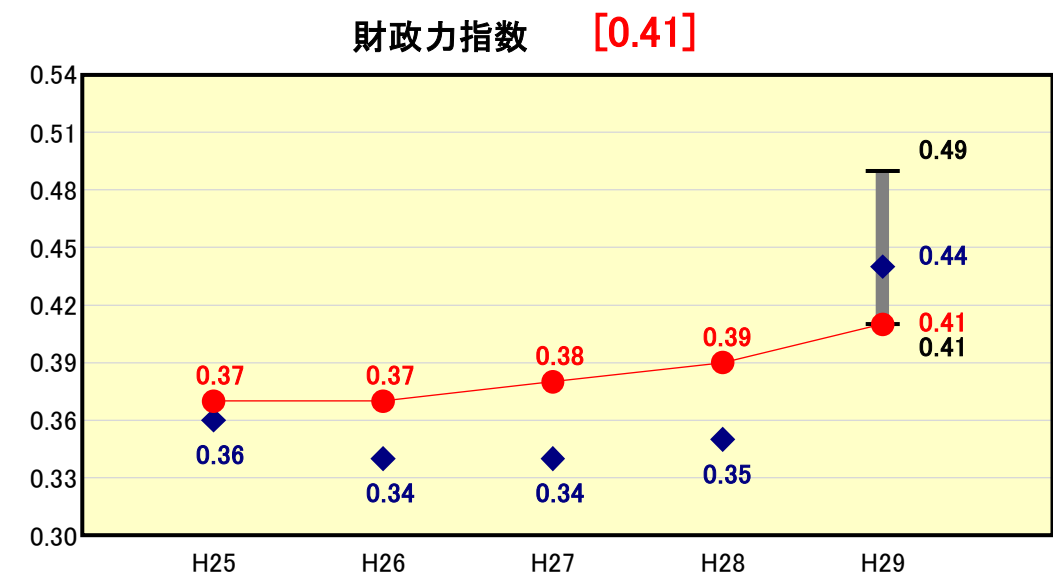
福井県

人口	790,758	人(H30.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	777,330	人(H30.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	4,190.51	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	13.3	%
歳入総額	461,396,606	千円	将来負担比率	169.2	%
歳出総額	451,217,611	千円	グループ	H25 D H26 D H27 D	
実質収支	3,765,325	千円	(年度毎)	H28 D H29 C	
標準財政規模	256,055,887	千円			
地方債現在高	819,458,666	千円			

● 当該団体値  
◆ グループ内平均値  
T グループ内の最大値及び最小値

※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。  
〔 Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満 〕  
※ 「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。  
※ 「定員管理の状況」及び「給与水準(国との比較)」は地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において平成30年調査結果が未公表であるため、平成29年度の数値については、前年度の数値を引用している。  
※ 人口については、各調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
※ グループ内順位及び都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合、グループ内順位を表示しない。

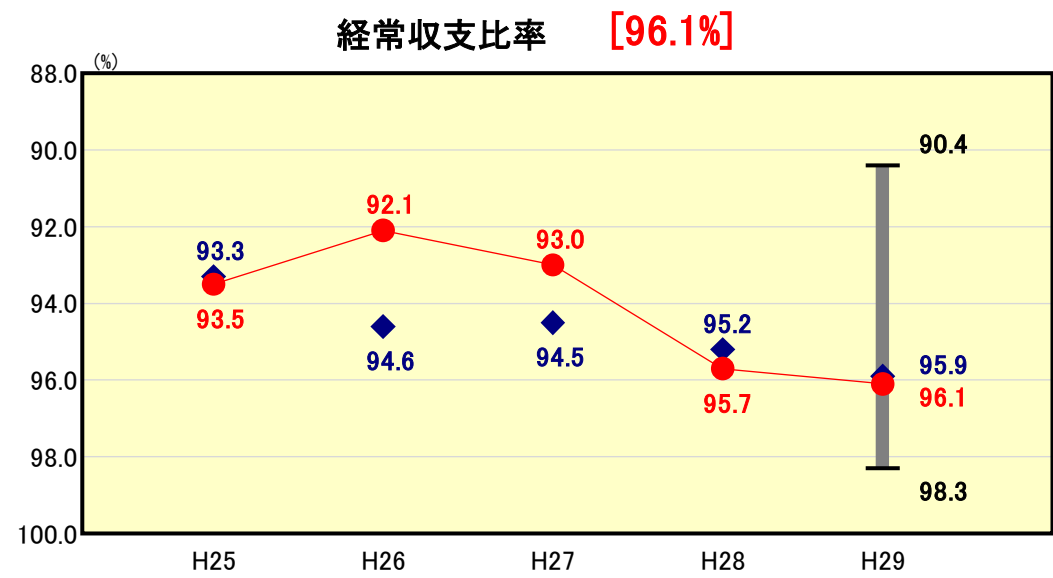
## 財政力



**財政力指数の分析欄**

税収の増等により、財政力指数は改善傾向である。  
引き続き、公共事業箇所の重点化、医療費の適正化、介護予防等による社会保障費の抑制など歳出の合理化・重点化を実現するとともに、地方税の徴収率の向上や県有財産の有効活用により歳入確保に努めていく。

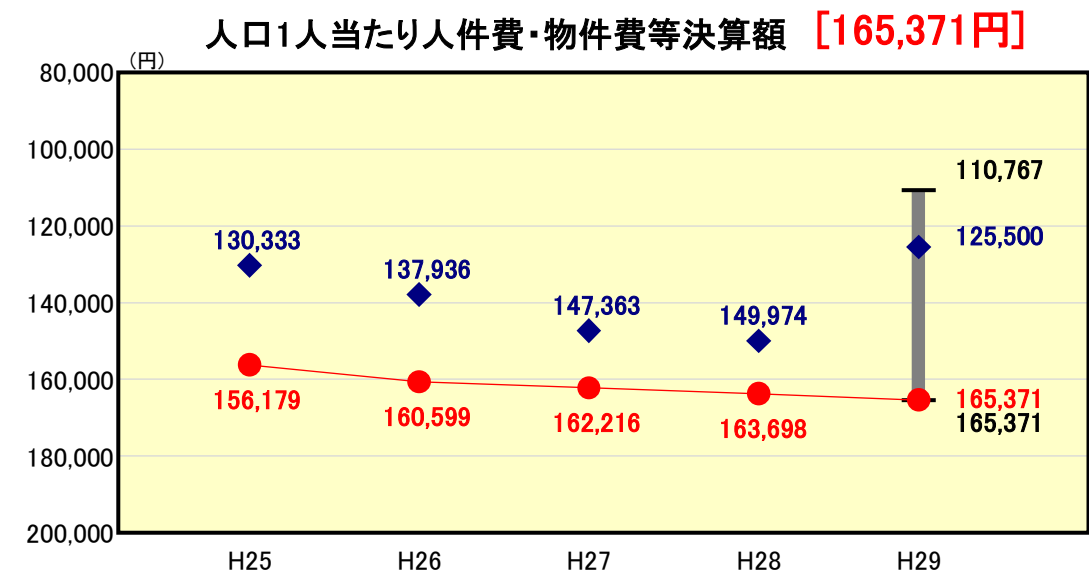
## 財政構造の弾力性



**経常収支比率の分析欄**

平成29年度は地方税や地方交付税等が減少したことにより平成28年度に続いて悪化し、全国平均を下回った。  
今後、扶助費および北陸新幹線建設事業による公債費の増加が予想されるが、事務事業の見直し等により、義務的経費の抑制に努める。

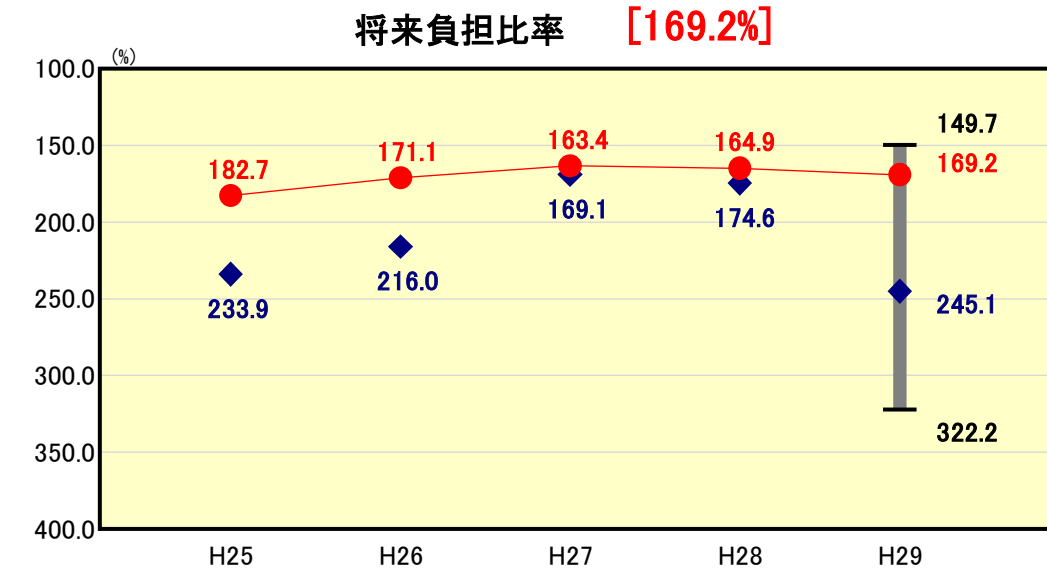
## 人件費・物件費等の状況



**人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄**

本県は人口が少ないことから、人口1人当たりで比較すると他団体より高くなる傾向にある。本県では、出先機関の再編や職員数の削減など行財政改革の実施により平成23年度から27年度までに職員数の3%削減するなど、人件費の削減努力を進めてきた。  
引き続き、全国最小規模の職員数を維持するとともに、一括発注など執行方法の工夫により、人件費・物件費等の抑制に努める。

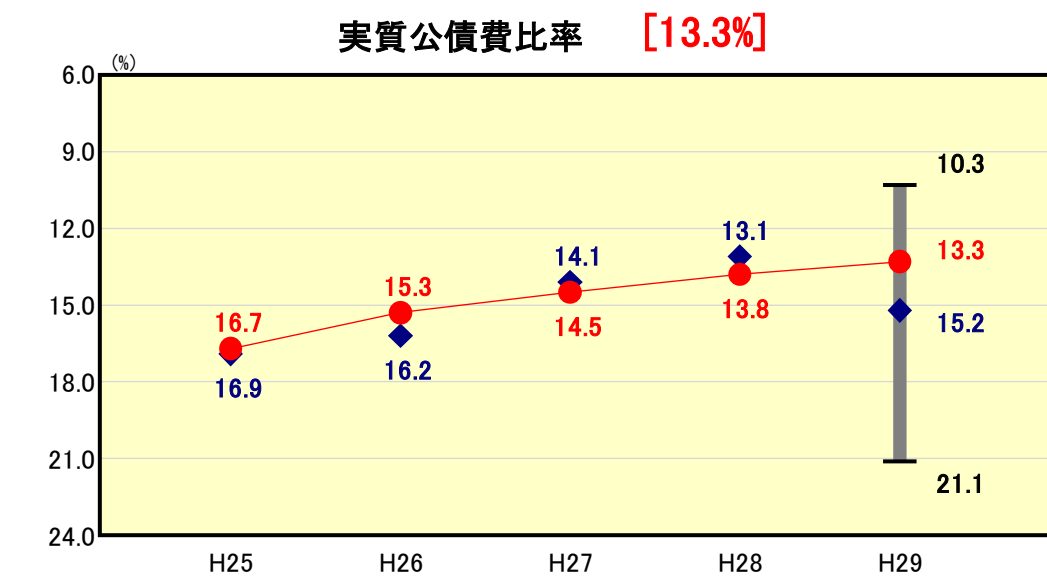
## 将来負担の状況



**将来負担比率の分析欄**

繰上償還による地方債残高の削減、病院事業会計の退職手当に関する一般会計の負担率見直し、公営企業債残高の縮減などにより将来負担額の圧縮に努めている。一方で、標準財政規模が大きく減少していることから、平成29年度は将来負担比率が増加した。  
今後とも将来への負担を少しでも軽減するよう、事業の選択と集中等により、県債の新規発行の抑制を図る。

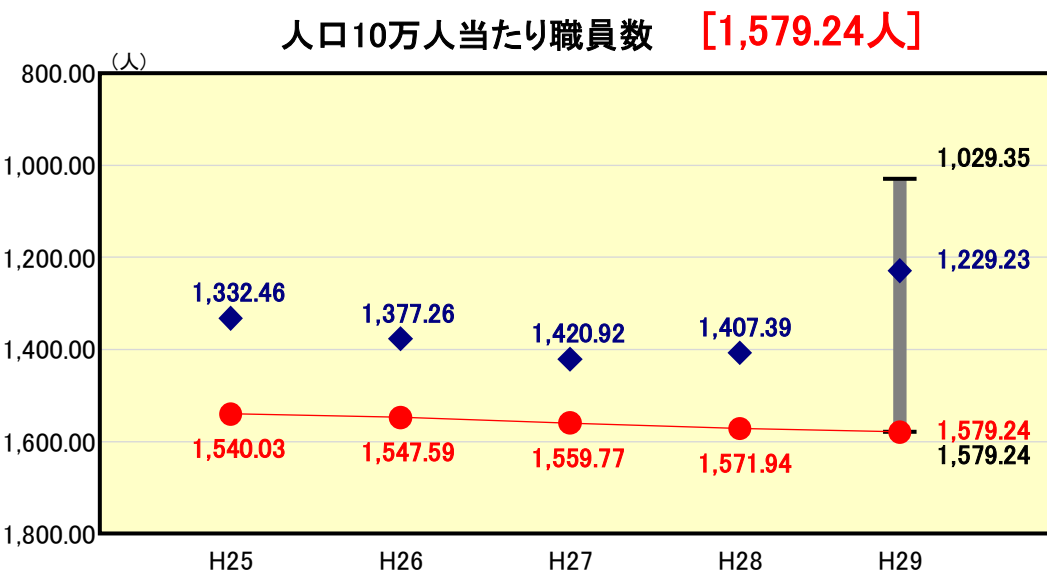
## 公債費負担の状況



**実質公債費比率の分析欄**

県債残高の縮減に伴い元利償還金は減少にあり、実質公債費比率は29年度においても前年比0.5ポイント改善している。  
引き続き、事業の選択と集中等により、県債の新規発行の抑制を図る。

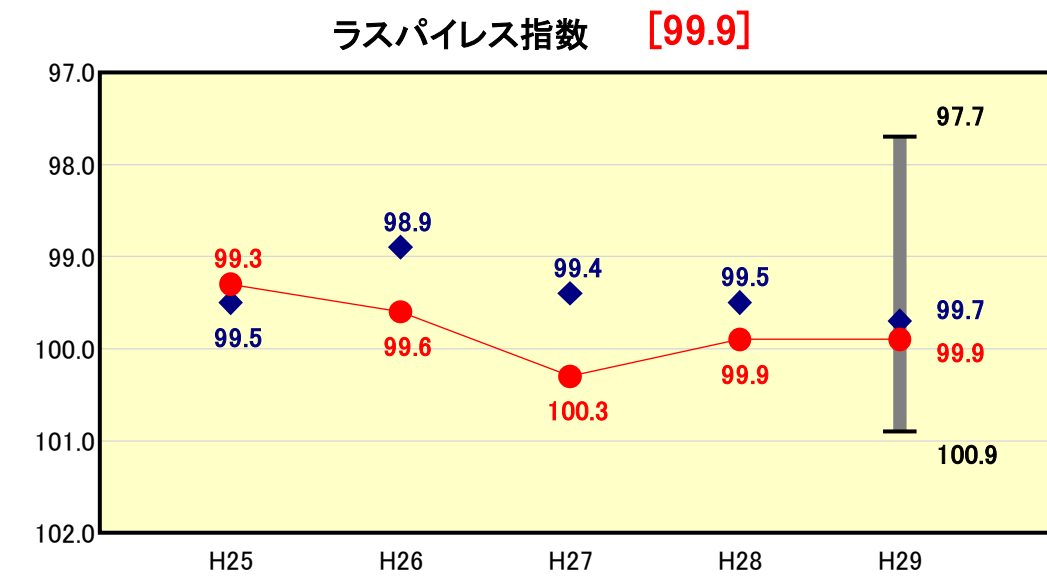
## 定員管理の状況



**人口10万人当たり職員数の分析欄**

本県は人口が少ないことから、人口10万人当たりで比較すると他団体より高くなる傾向がある。本県では、平成23年度から27年度までに職員数の3%を削減し、以降全国最小水準を維持している。  
一般行政部門の職員数では全国最小規模となっており、引き続き適正な定員管理に努めていく。

## 給与水準(国との比較)



**ラスパイレス指数の分析欄**

29年度は前年度と比較して改善し、100.0以下となっている。  
今後とも、民間企業の状況や国・他県の動向を踏まえ、適正な給与水準を維持していく。

# (4)-1 都道府県経常経費分析表(普通会計決算)

平成29年度

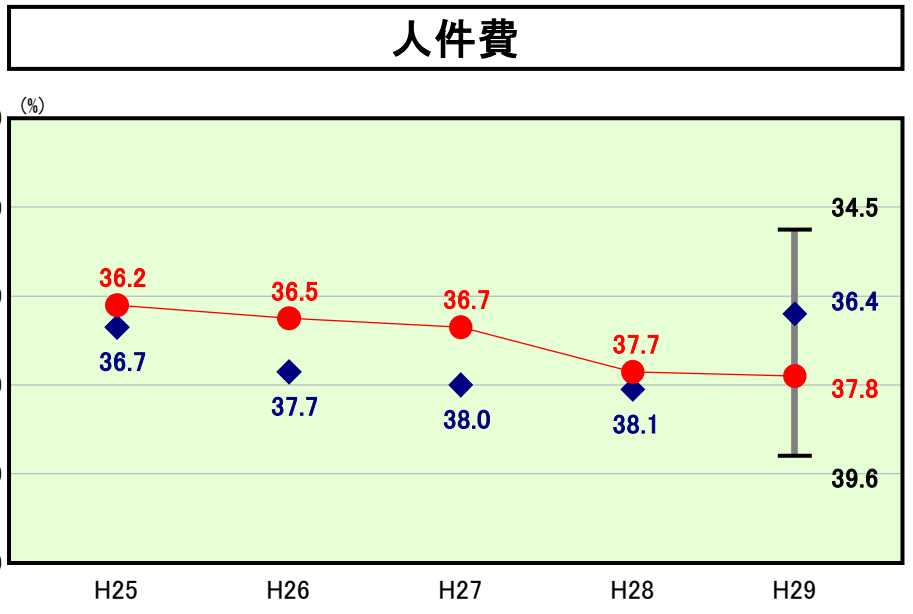
福井県

## 経常収支比率の分析

人口	790,758	人(H30.1.1現在)	-	%
うち日本人	777,330	人(H30.1.1現在)	-	%
面積	4,190.51	km <sup>2</sup>		
歳入総額	461,396,606	千円	実質赤字比率	-
歳出総額	451,217,611	千円	連結実質赤字比率	-
実質収支	3,765,325	千円	実質公債費比率	13.3
標準財政規模	256,055,887	千円	将来負担比率	169.2
地方債現在高	819,458,666	千円	グループ	H25 D H26 D H27 D
			(年度毎)	H28 D H29 C

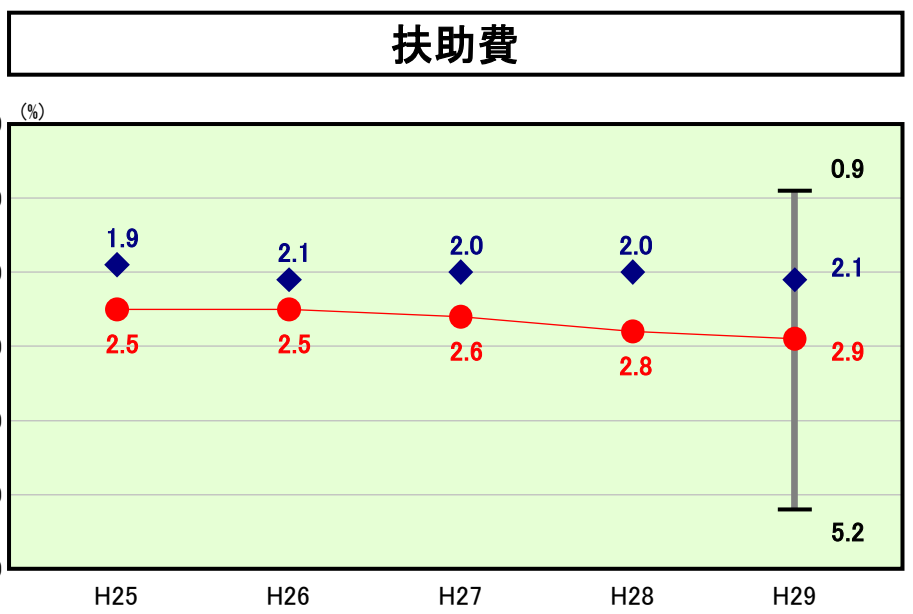
● 当該団体値  
◆ グループ内平均値  
T グループ内の最大値及び最小値

※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。  
〔 Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満 〕  
※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
※ グループ内順位及び都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合、グループ内順位を表示しない。



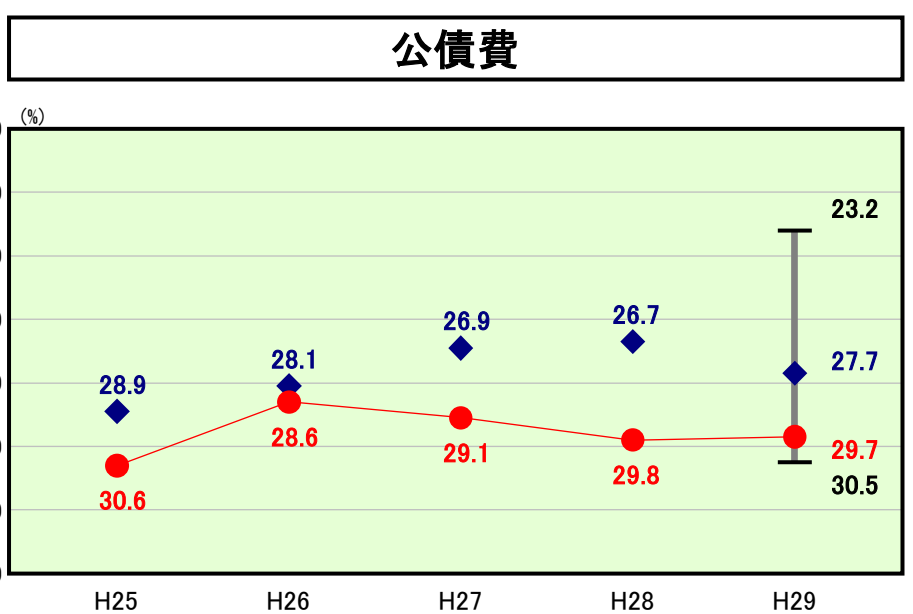
### 人件費の分析欄

行財政改革の実施により、平成23年度から平成27年度までに職員数を3%削減し、一般行政部門の職員数は全国最小規模となっている。今後も全国最小規模の職員数を維持していくことにより、人件費の増加を抑制していく。



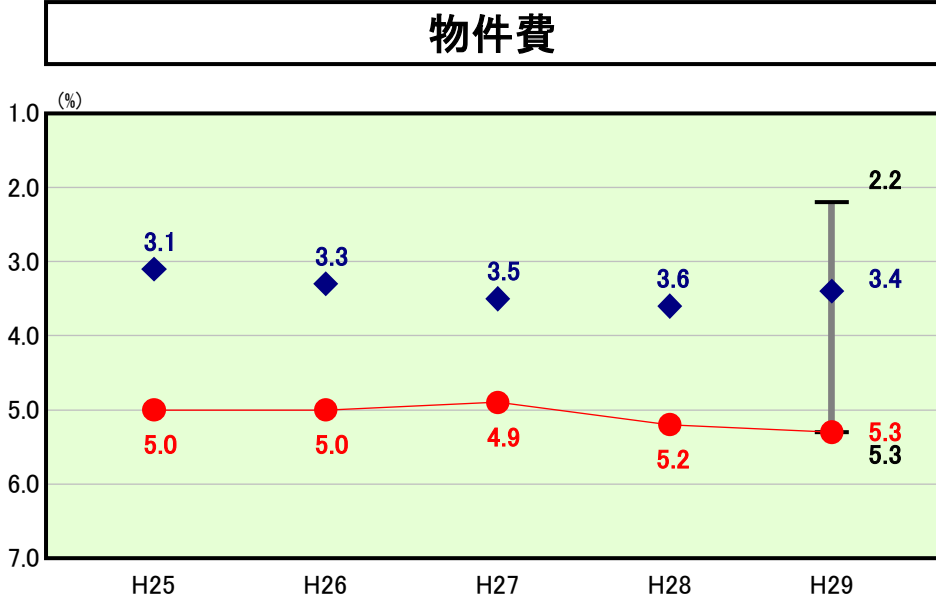
### 扶助費の分析欄

高齢化の進展による介護給付費の増加等により、扶助費に係る経常収支比率は増加傾向にある。今後、医療費適正化計画の着実な実行や介護予防の推進等により、社会保障費の抑制に努めていく。



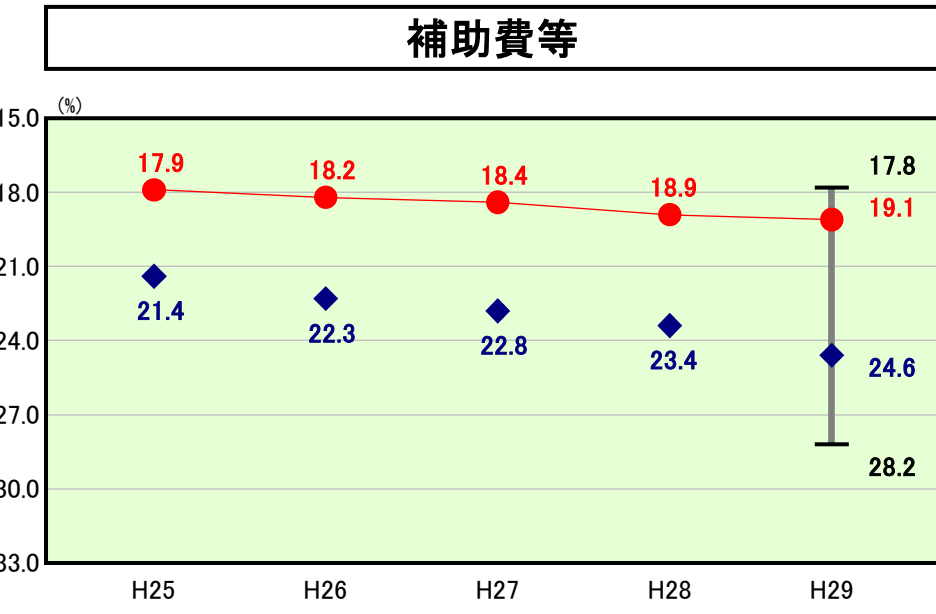
### 公債費の分析欄

平成23年度から平成27年度まで実施した繰上償還の効果もあり、改善傾向にある。平成29年度は、地方債利子の減少により公債費の経常収支比率は減少している。今後、北陸新幹線建設事業に伴い公債費の増加が予想されるが、投資的経費の重点化等により起債を抑制するとともに、超長期債の発行により単年度公債費の抑制、平準化に努めていく。



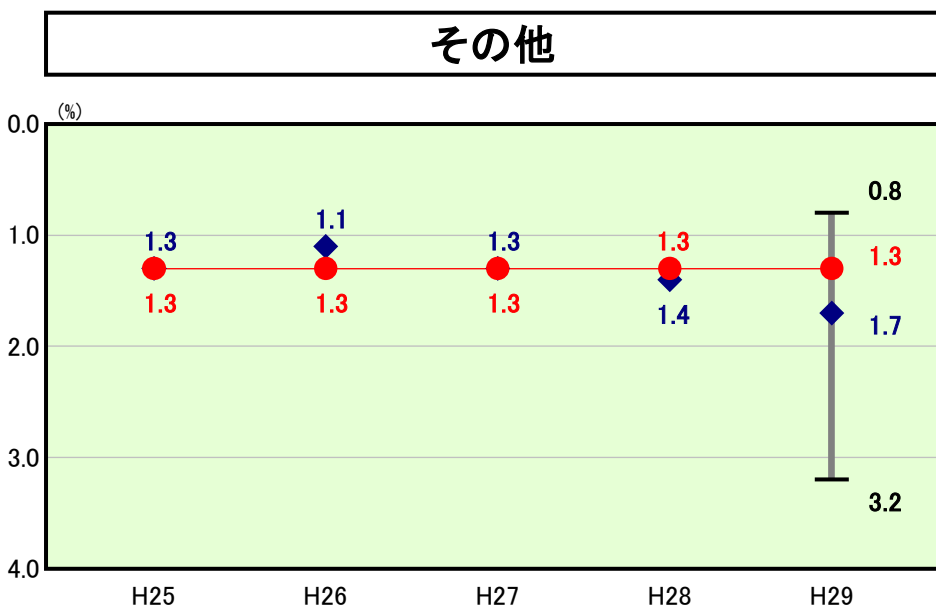
### 物件費の分析欄

物件費に係る経常収支比率は、5.0%付近で推移しており、類似団体の平均および都道府県平均より高い水準で推移している。毎年、事務事業の総点検を行い、委託業務内容の見直し等を実施し、歳出の抑制を図っている。



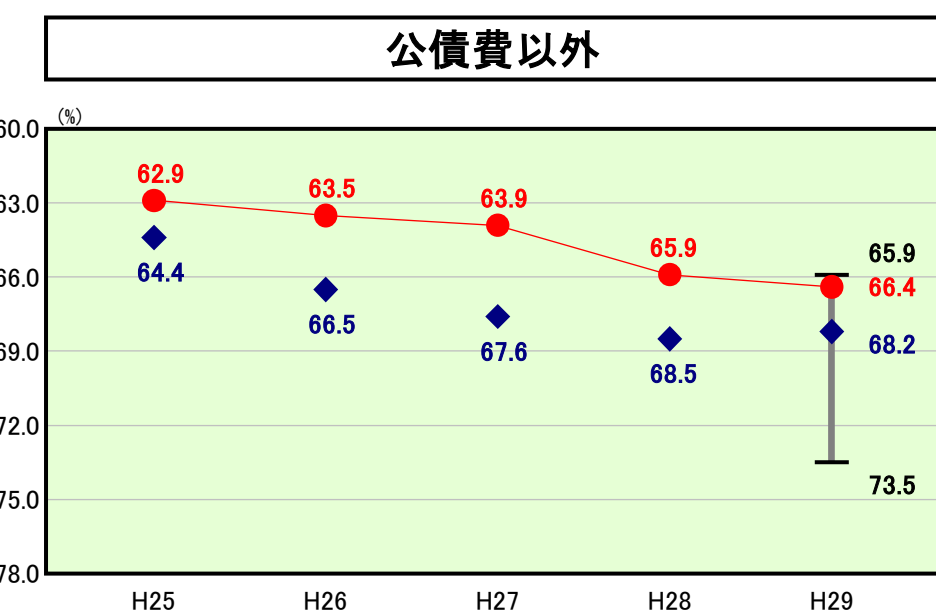
### 補助費等の分析欄

後期高齢者医療費の県負担等が増加し、補助費等の占める割合は増加傾向にある。今後も、医療費適正化計画の着実な実行や介護予防の推進等により、社会保障費の伸びを抑制していく。



### その他の分析欄

近年は、景気回復等の影響により制度融資貸付金が減少したこと等により、全国平均と同水準で推移している。



### 公債費以外の分析欄

公債費以外の経常収支比率は、地方税等の歳入の減少に伴う経常一般財源の減少等により前年度比0.5ポイントの増加となった。



# (4)-2 都道府県経常経費分析表(普通会計決算)

平成29年度

福井県

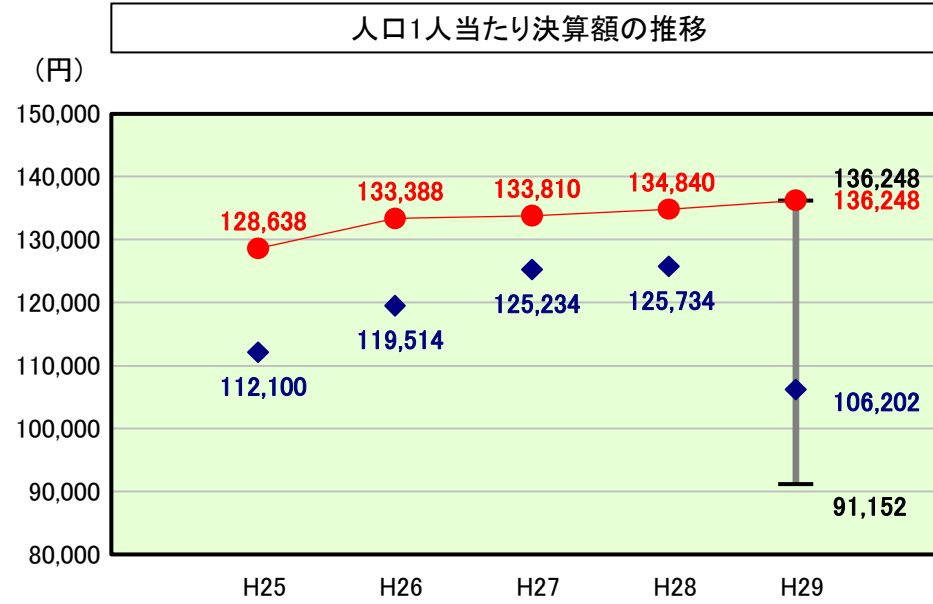
## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析

### 人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	グループ内平均(円)	対比(%)
人件費	115,369,322	145,897	112,998	29.1
賃金(物件費)	592,775	750	443	69.3
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	398,725	504	578	▲12.8
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	-	-	4	-
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	1,226,153	1,551	1,817	▲14.6
▲退職金	▲9,847,976	▲12,454	▲9,638	29.2
合計	107,738,999	136,248	106,202	28.3

### 参考

	当該団体	グループ内平均	対比(差引)
人口100,000人当たり職員数(人)	1,579.24	1,229.23	350.01
ラスパイレス指数	99.9	99.7	0.2



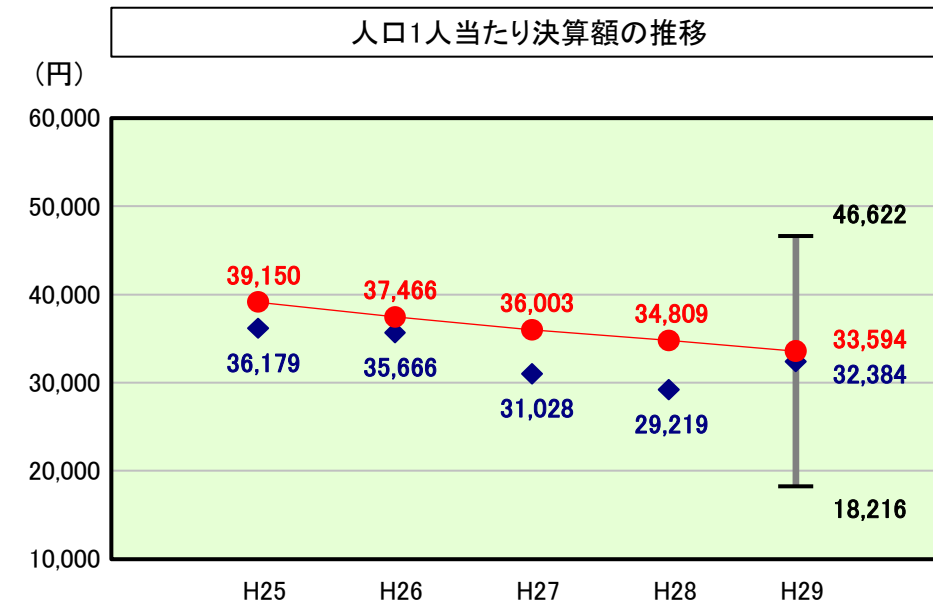
(注) 人口については、各調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

(注) 参考については、地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において平成30年調査結果が未公表であるため、前年度の数値を引用している。

## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

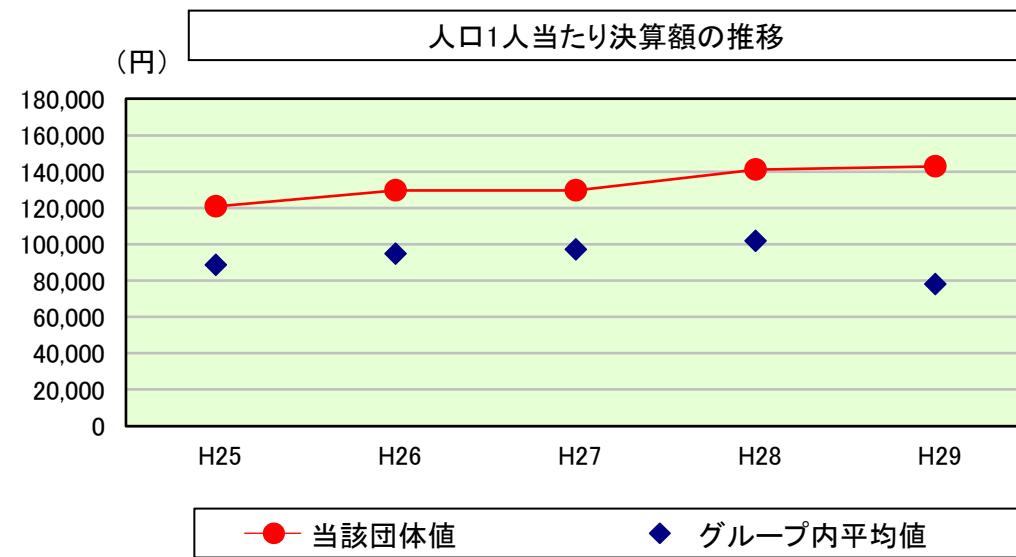
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	グループ内平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	73,110,099	92,456	61,771	49.7
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	5,469	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	9,933,333	12,562	13,771	▲8.8
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	3,625,974	4,585	1,406	226.1
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	-	-	78	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	628,620	795	1,168	▲31.9
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利息は除く)	-	-	0	-
▲特定財源の額	▲9,182,298	▲11,612	▲3,889	198.6
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲51,550,915	▲65,192	▲47,391	37.6
合計	26,564,813	33,594	32,384	3.7



## (参考) 普通建設事業費の分析

### 普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	グループ内平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H25	97,540,900	120,685	12.7	88,620	12.5	0.2
うち単独分	26,685,472	33,017	7.2	19,309	▲3.3	10.5
H26	104,132,236	129,597	7.4	94,715	6.9	0.5
うち単独分	30,990,026	38,569	16.8	24,902	29.0	▲12.2
H27	103,657,153	129,698	0.1	97,161	2.6	▲2.5
うち単独分	44,017,986	55,076	42.8	26,543	6.6	36.2
H28	111,974,374	140,949	8.7	101,731	4.7	4.0
うち単独分	40,719,297	51,256	▲6.9	26,906	1.4	▲8.3
H29	112,976,938	142,872	1.4	77,936	▲23.4	24.8
うち単独分	46,410,603	58,691	14.5	19,401	▲27.9	42.4
過去5年間平均	106,056,320	132,760	6.1	92,033	0.7	5.4
うち単独分	37,764,677	47,322	14.9	23,412	1.2	13.7



# (5) 都道府県性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

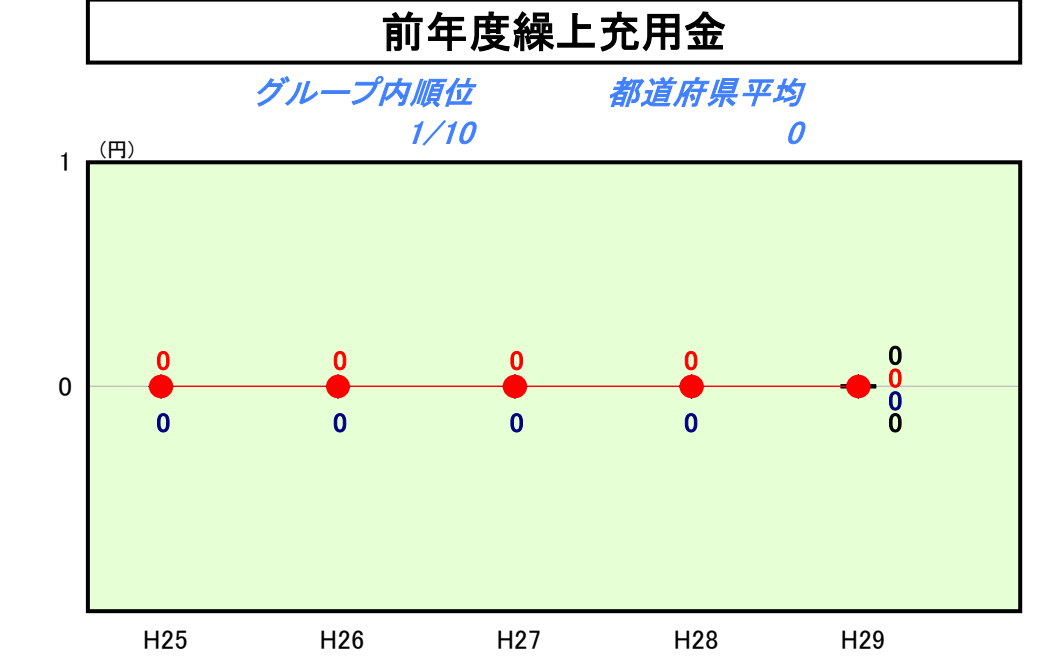
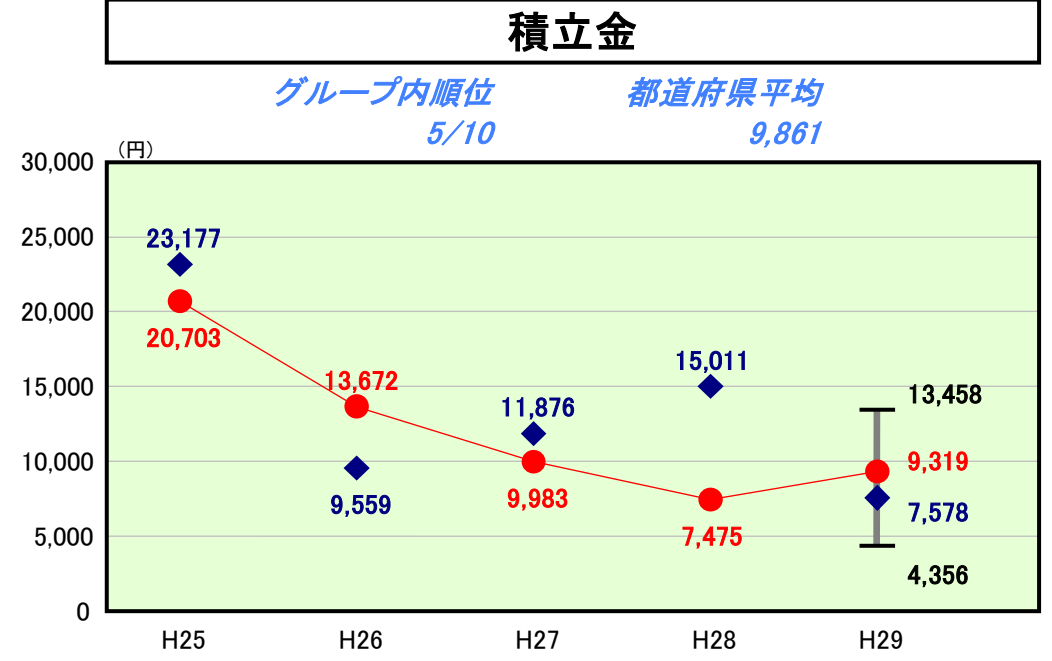
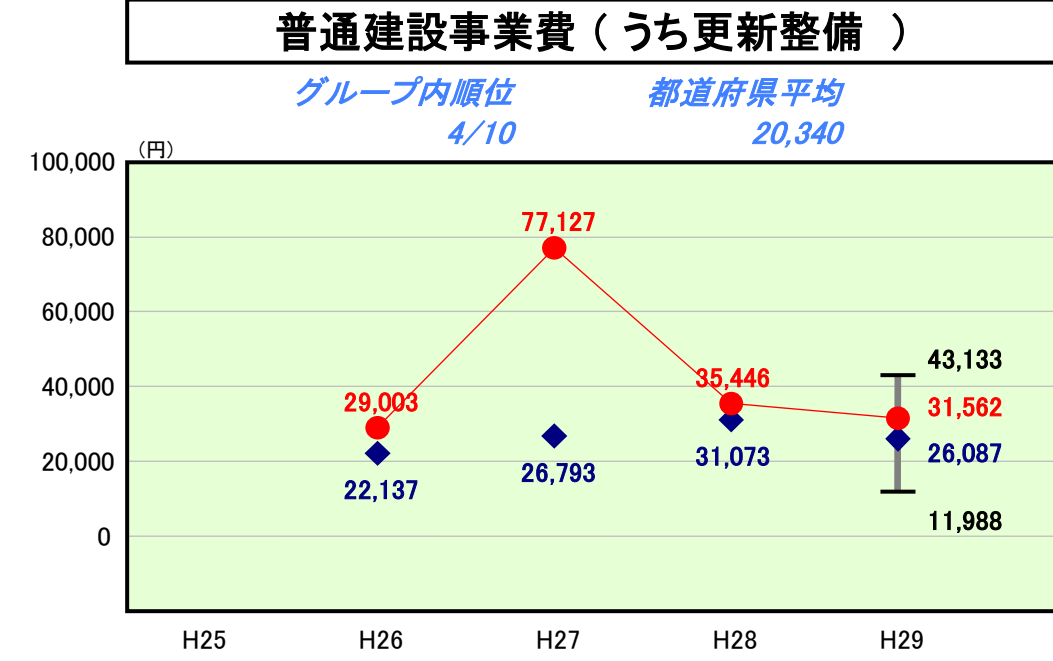
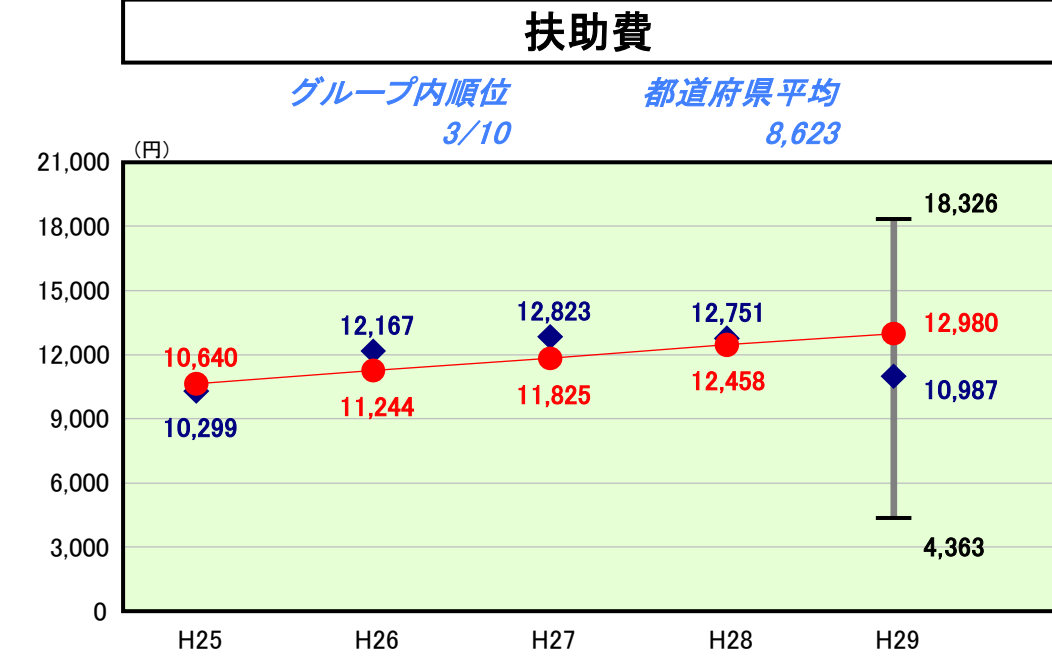
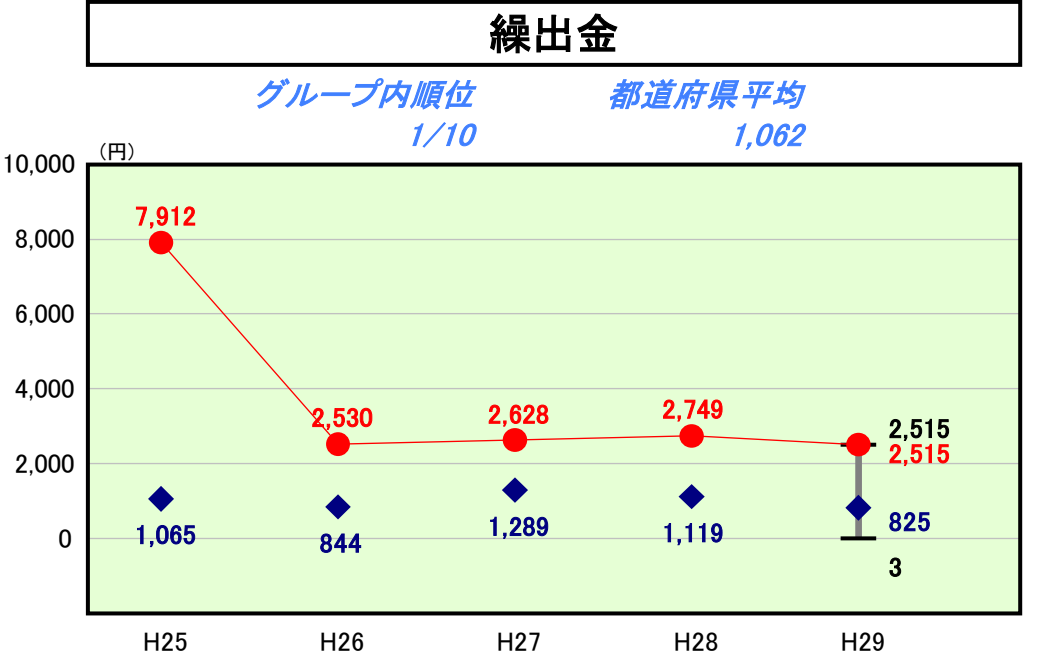
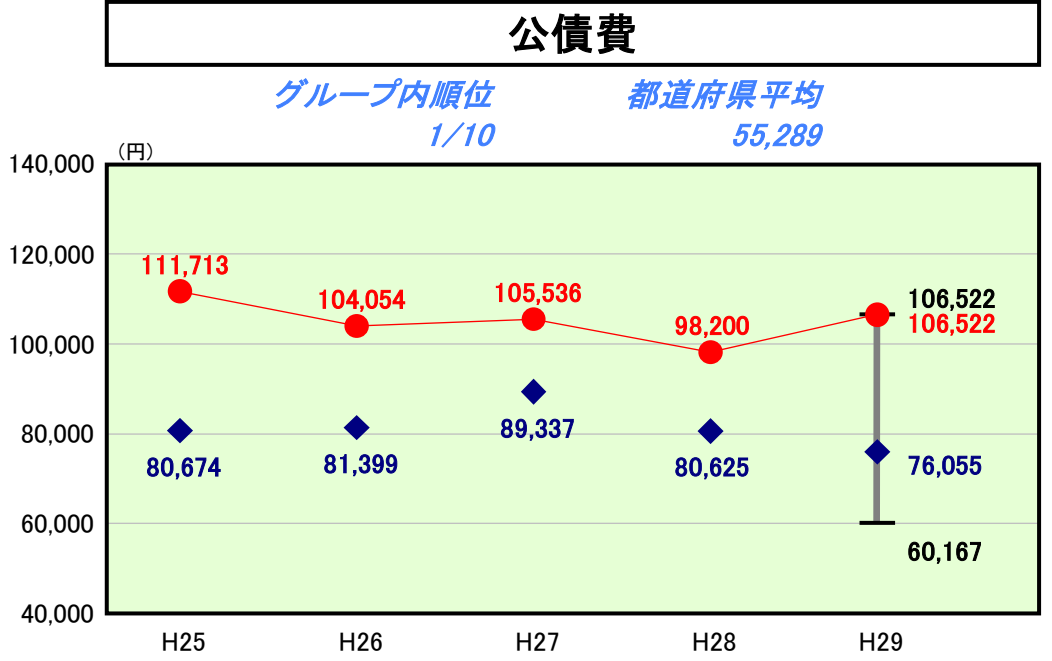
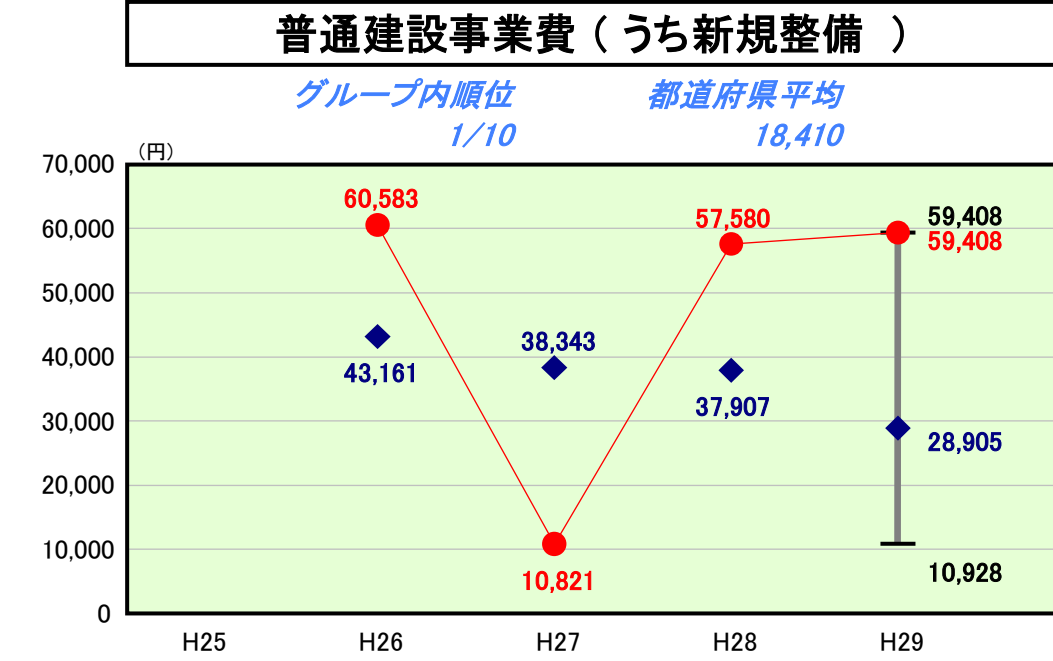
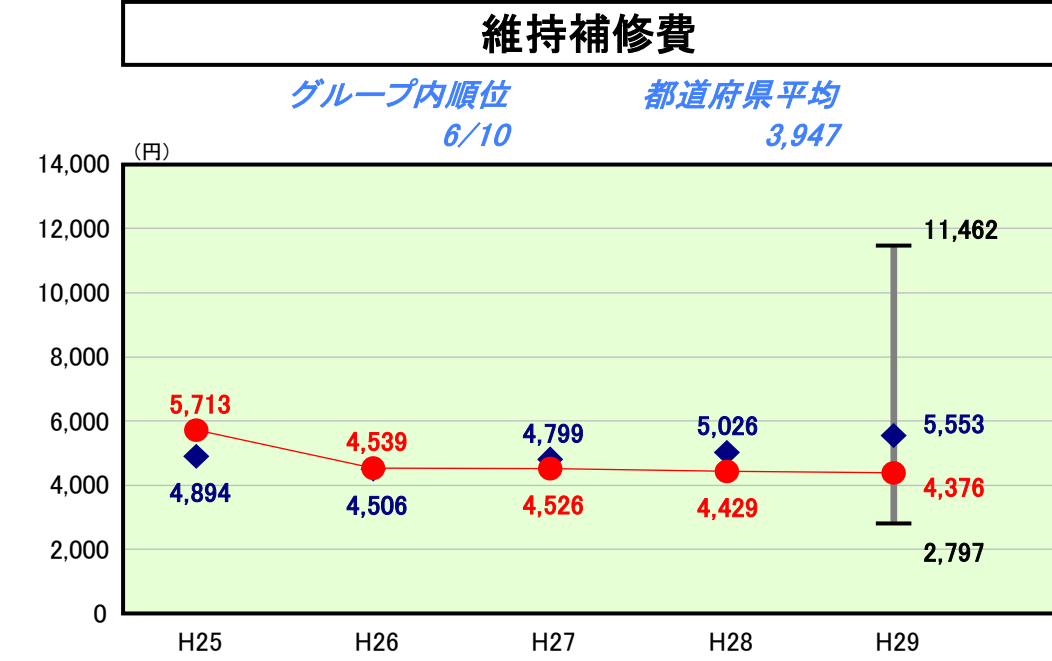
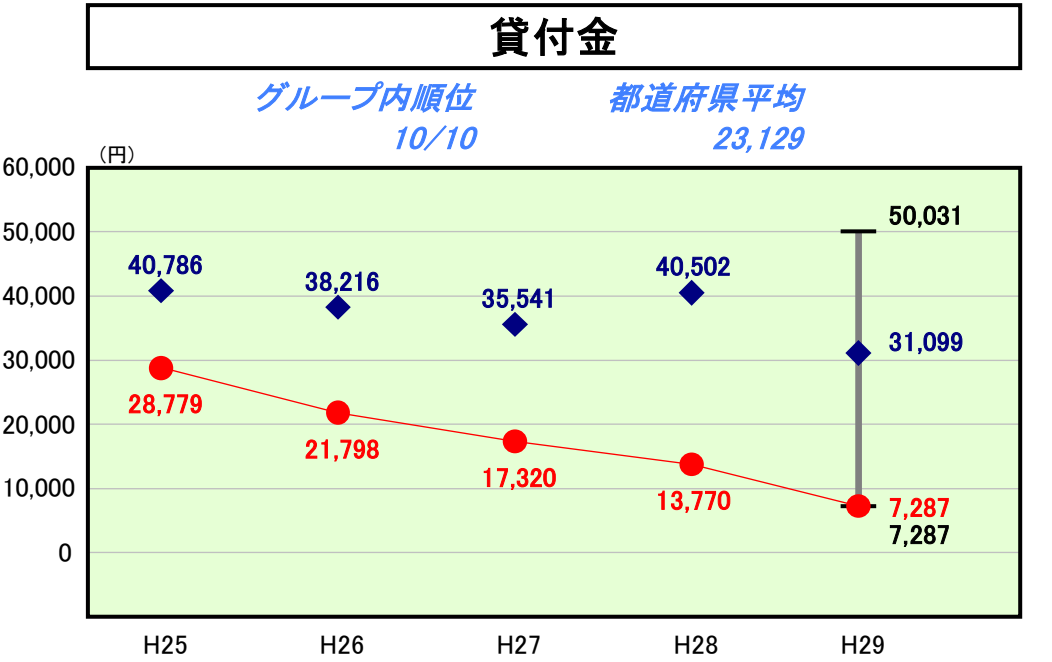
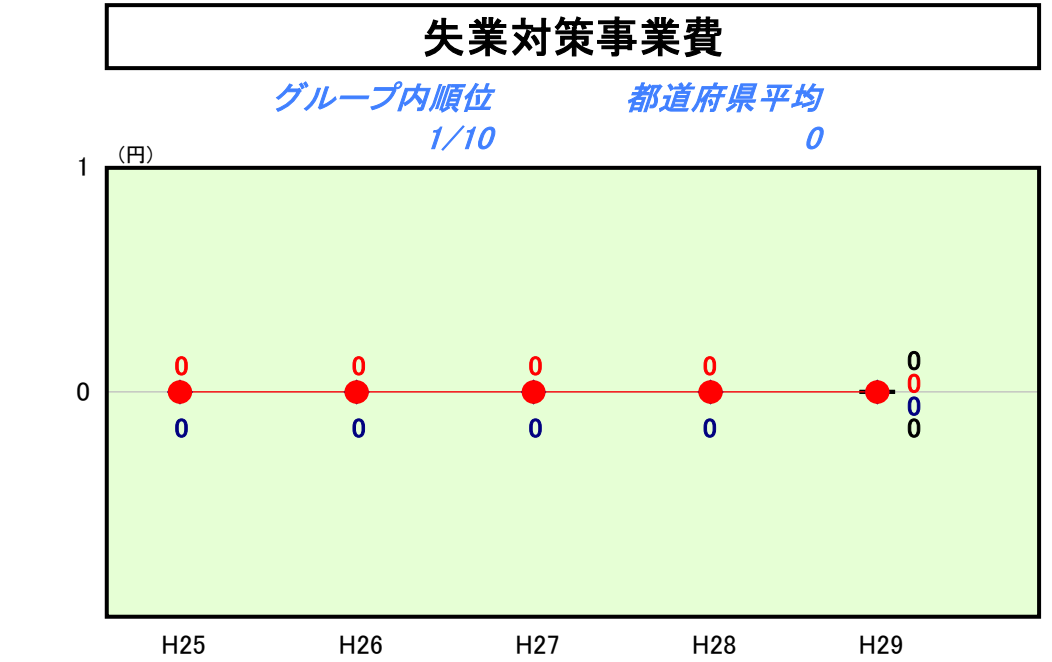
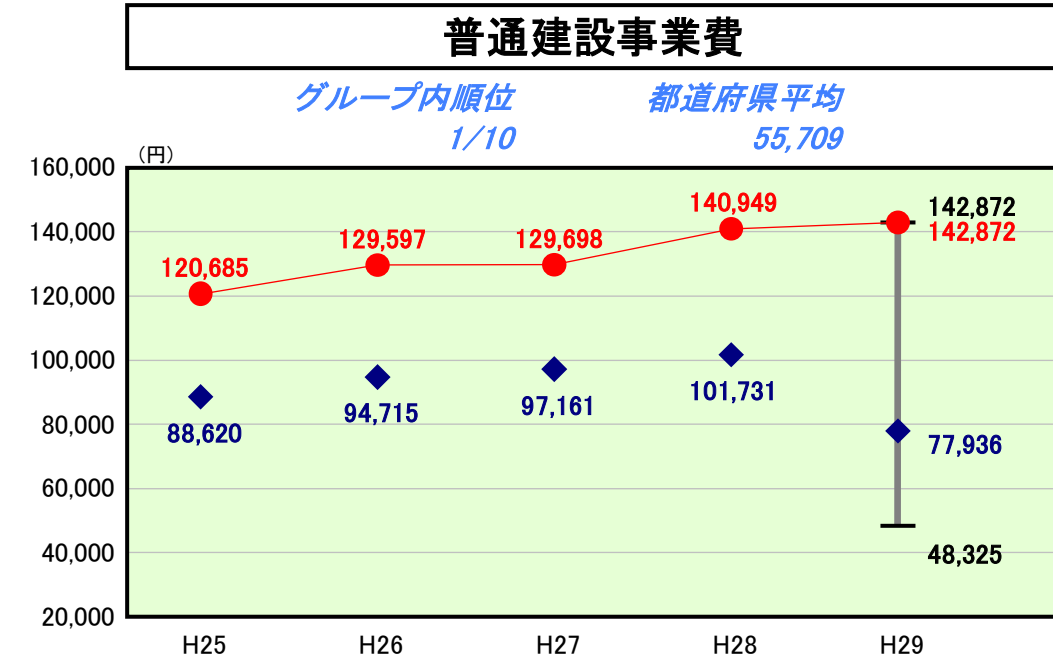
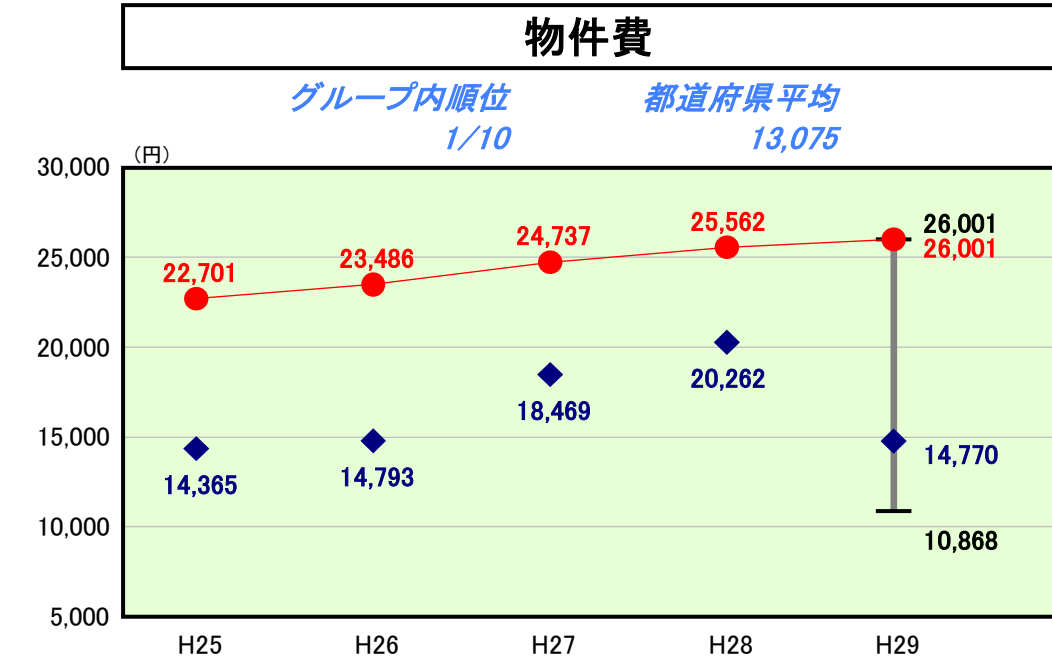
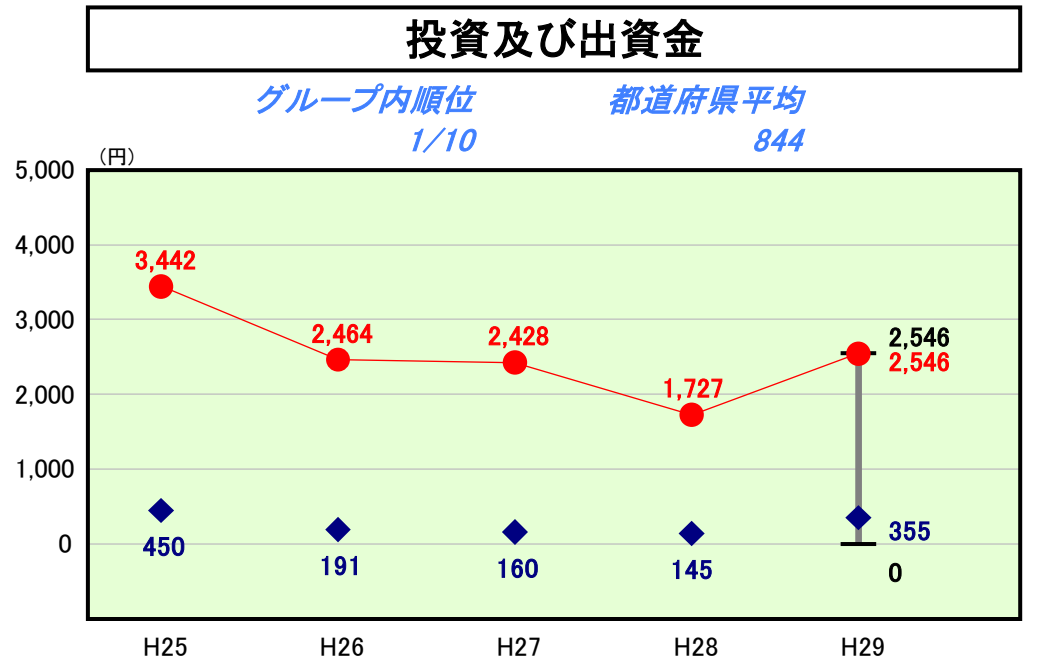
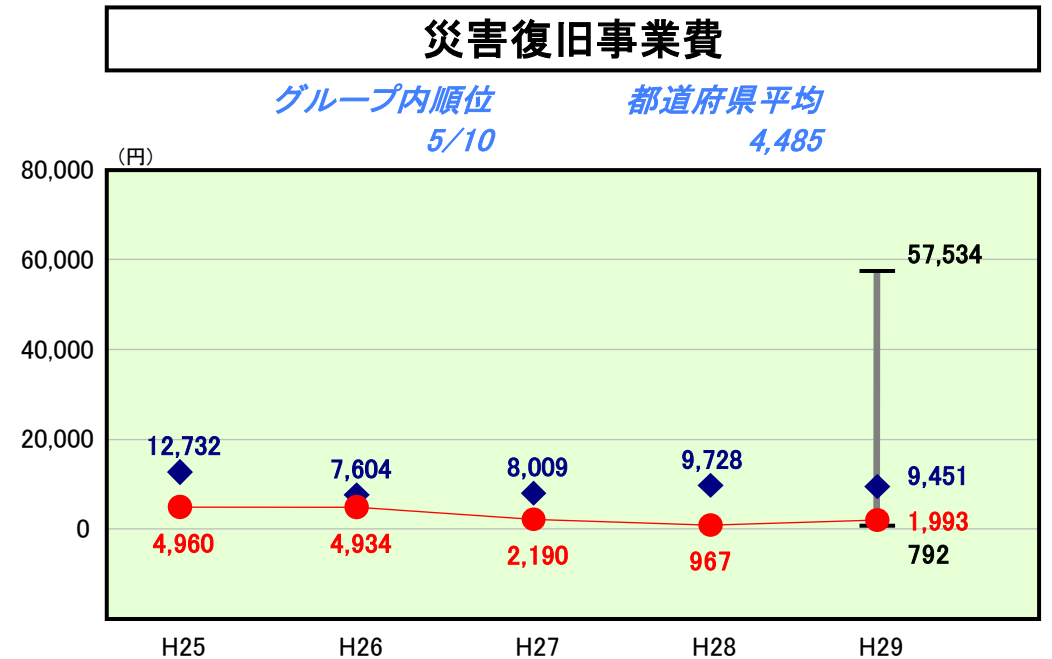
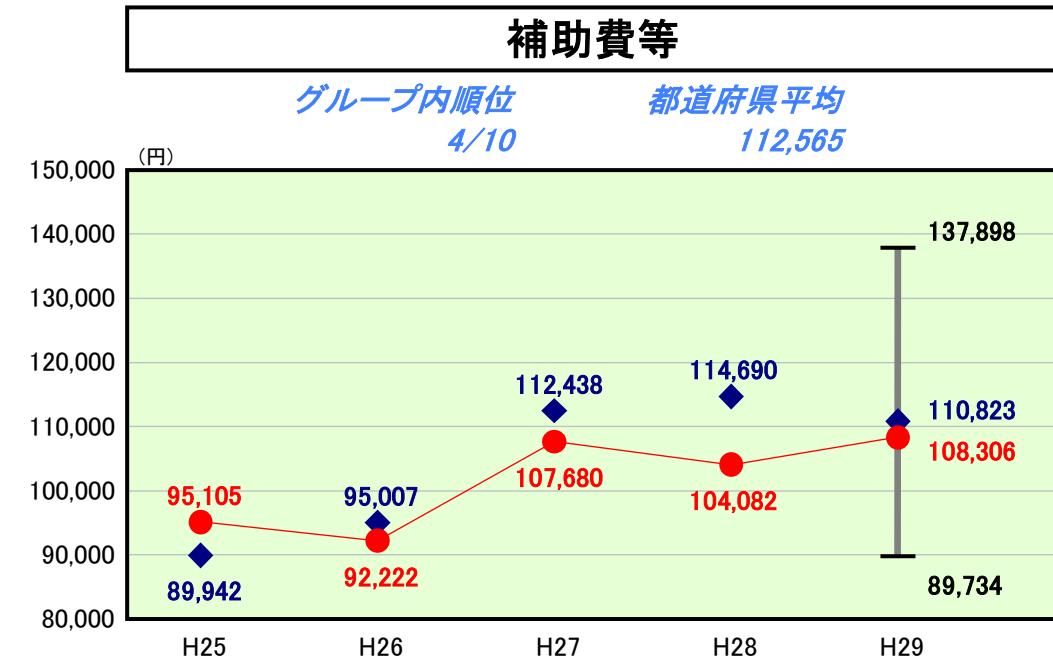
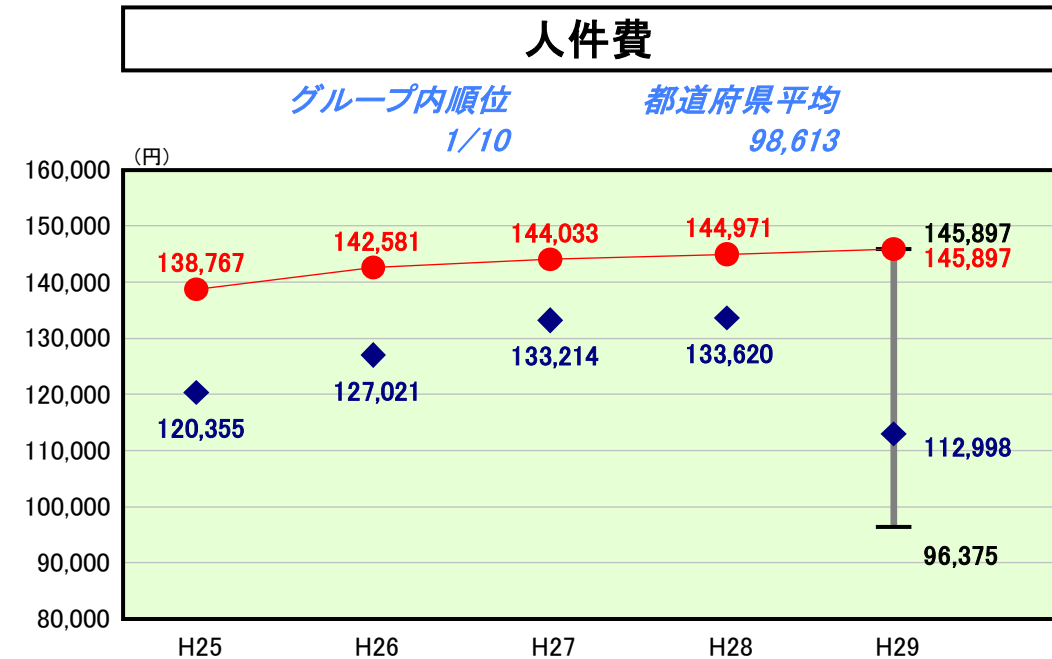
平成29年度

福井県

人口	790,758人(H30.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	777,330人(H30.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	4,190.51km <sup>2</sup>	実質公債費比率	13.3%
歳入総額	461,396,606千円	将来負担比率	169.2%
歳出総額	451,217,611千円	グループ	H25 D H26 D H27 D
実質収支	3,765,325千円	(年度毎)	H28 D H29 C
標準財政規模	256,055,887千円		
地方債現在高	819,458,666千円		

● 当該団体値  
◆ グループ内平均値  
T グループ内の最大値及び最小値

※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。  
〔 Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満 〕  
※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
※ グループ内順位及び都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合グループ内順位を表示しない。



#### 性質別歳出の分析欄

本県は人口が少ないことから住民一人当たりのコストは他団体より高くなる傾向にある。  
 人件費は、住民一人当たり145,897円となっている。行財政改革の実施により、平成23年度から27年度までに職員数の3%削減を実施しており、一般行政部門の職員数は全国最小水準となっている。  
 普通建設事業は、住民一人当たり142,872円となっており、近年増加傾向にある。これは北陸新幹線建設事業の増が主な要因である。  
 公債費は、住民一人当たり106,522円となっている。23年度から27年度まで実施した繰上償還の影響もあり、近年減少傾向にある。平成29年度は「ふくい逸品創造ファンド」出資金の借換等により元利償還金が一時的に増加した。  
 今後、北陸新幹線整備や中部縦貫自動車道の整備などの大型のプロジェクトが本格化していくが、引き続き、歳出の合理化や抑制を図り、健全な財政の維持に努めていく。



# (6) 都道府県目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

平成29年度

福井県

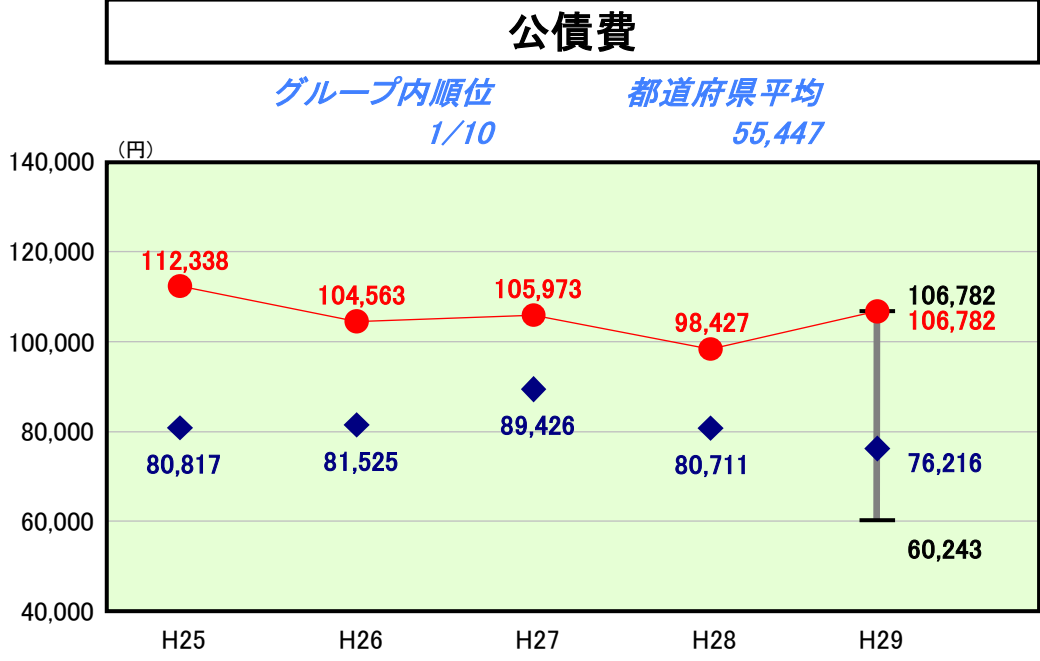
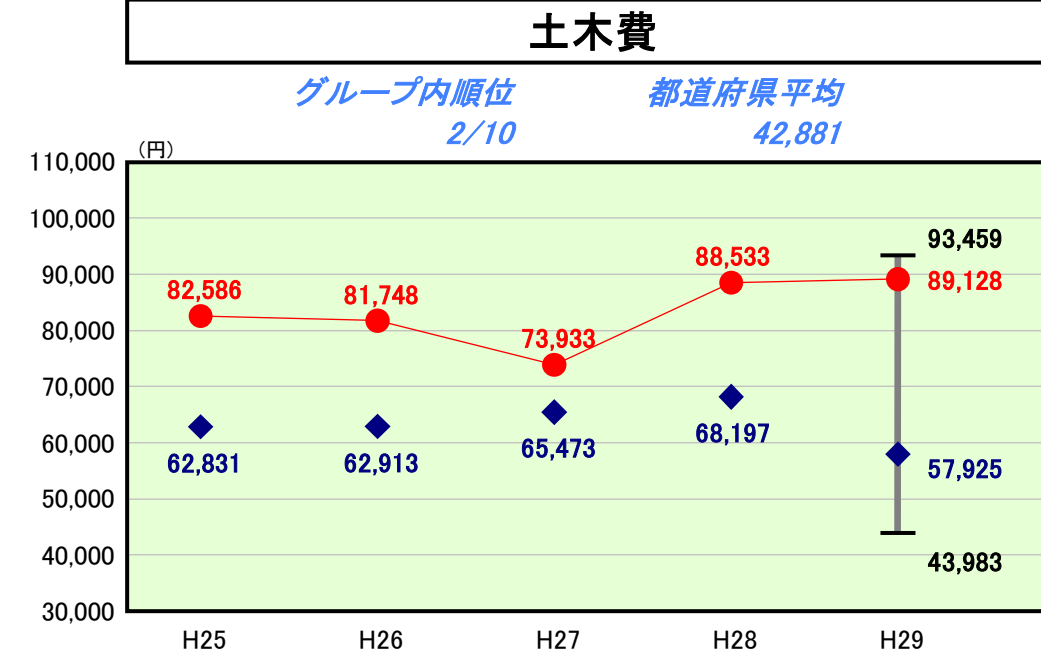
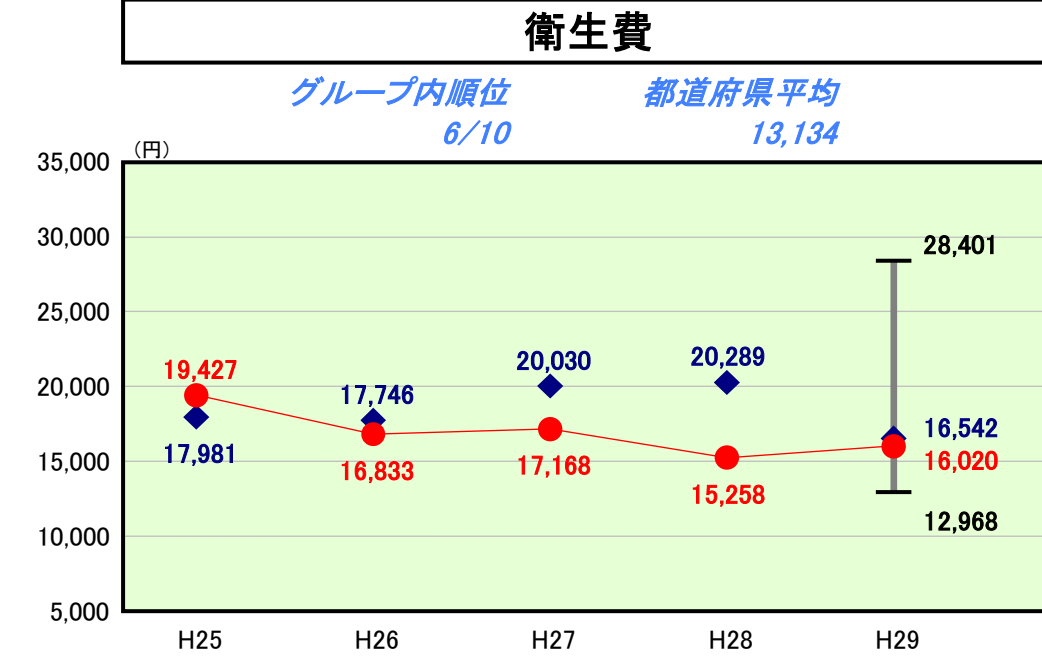
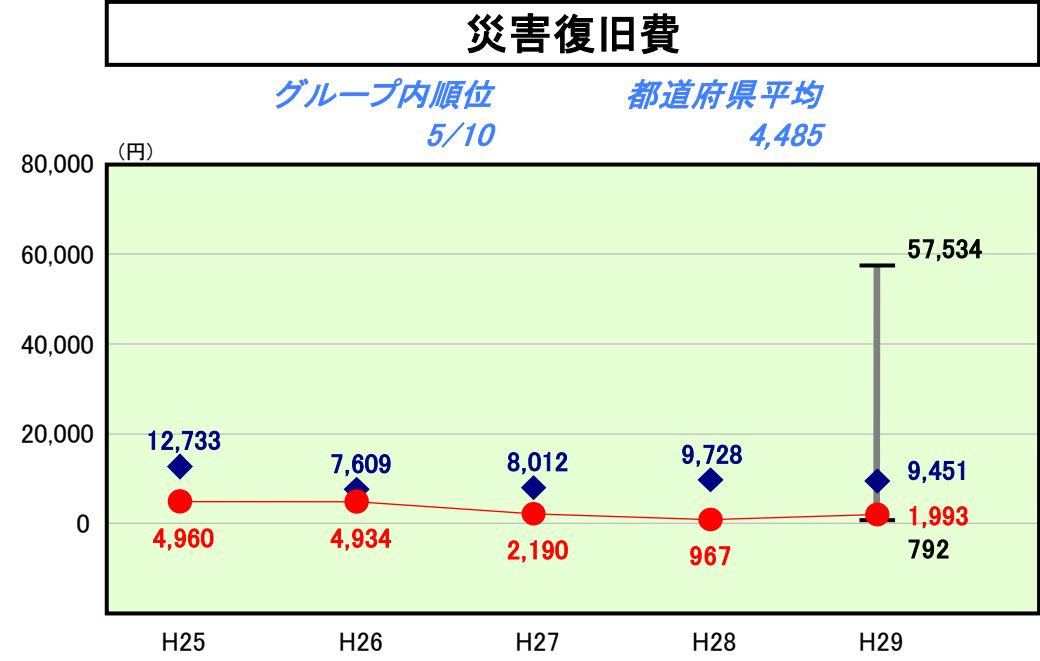
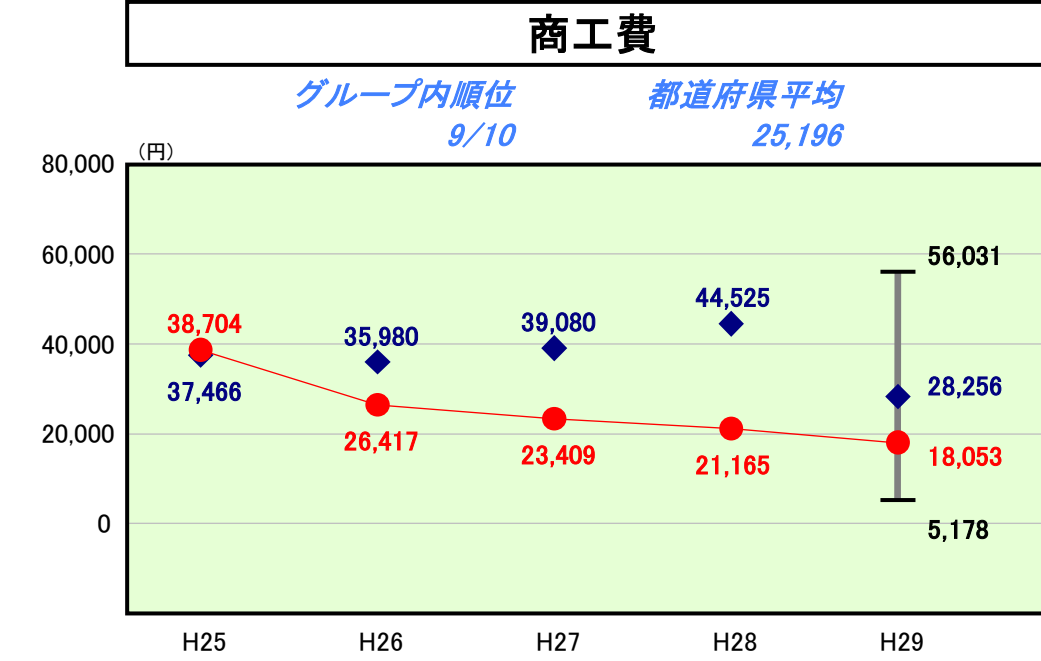
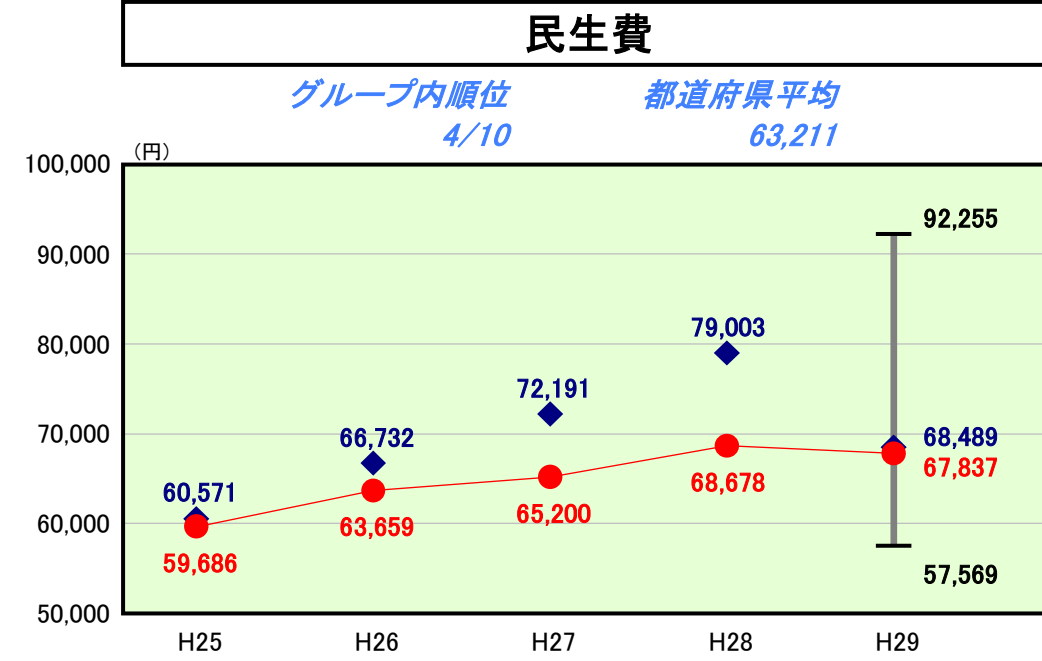
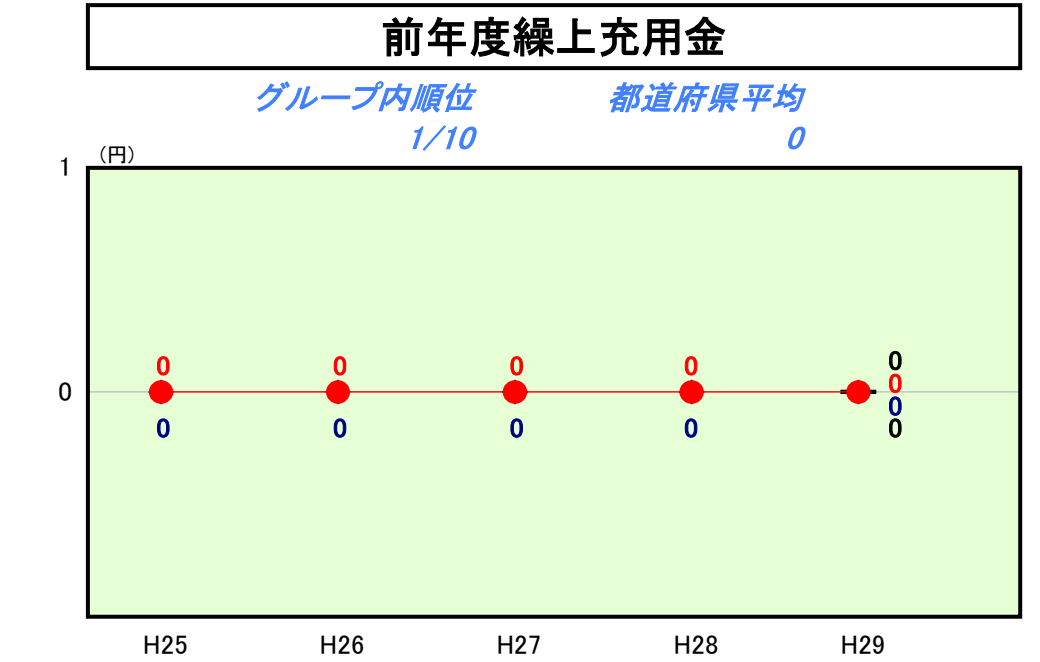
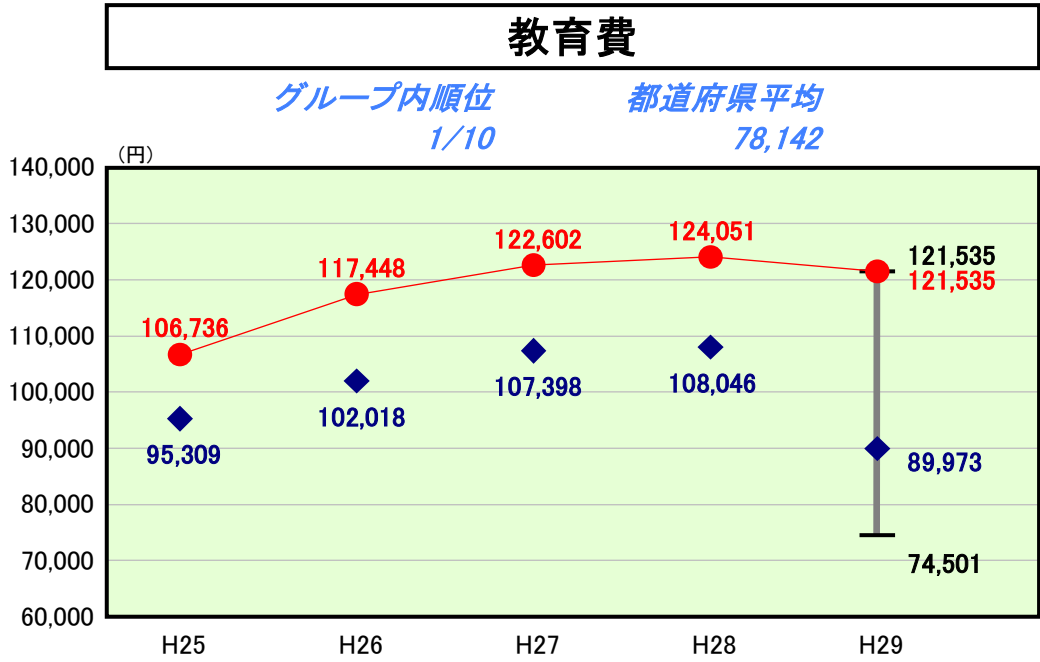
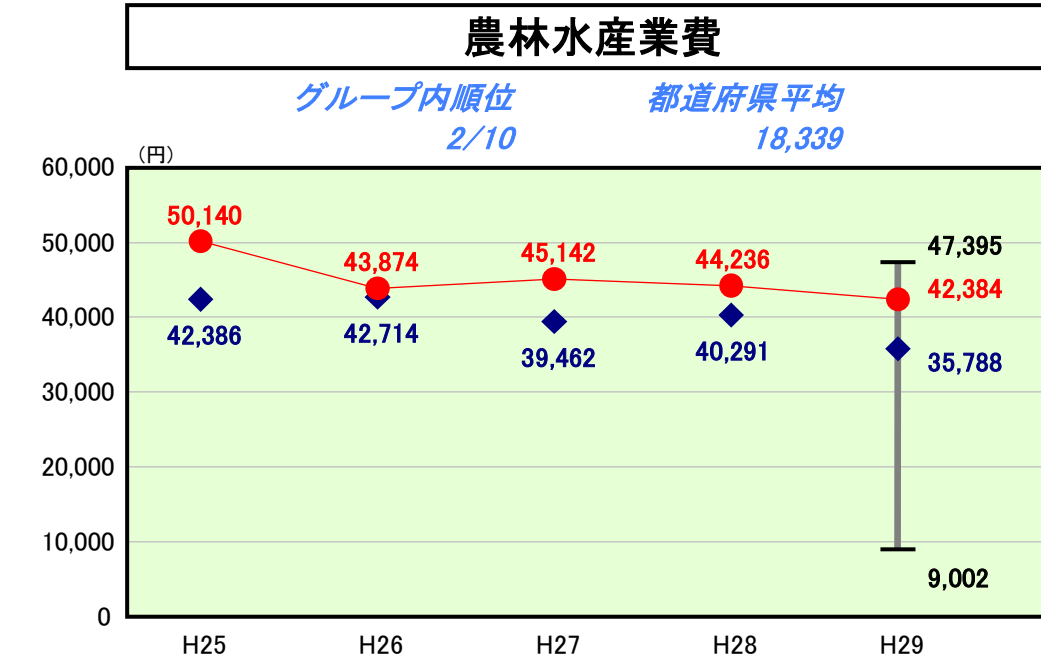
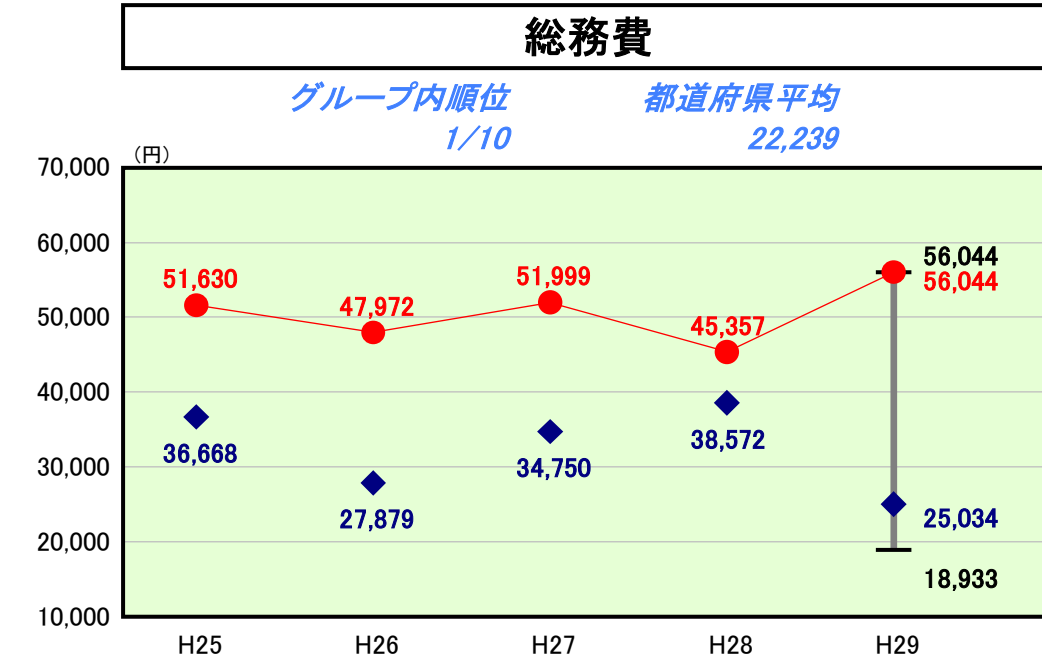
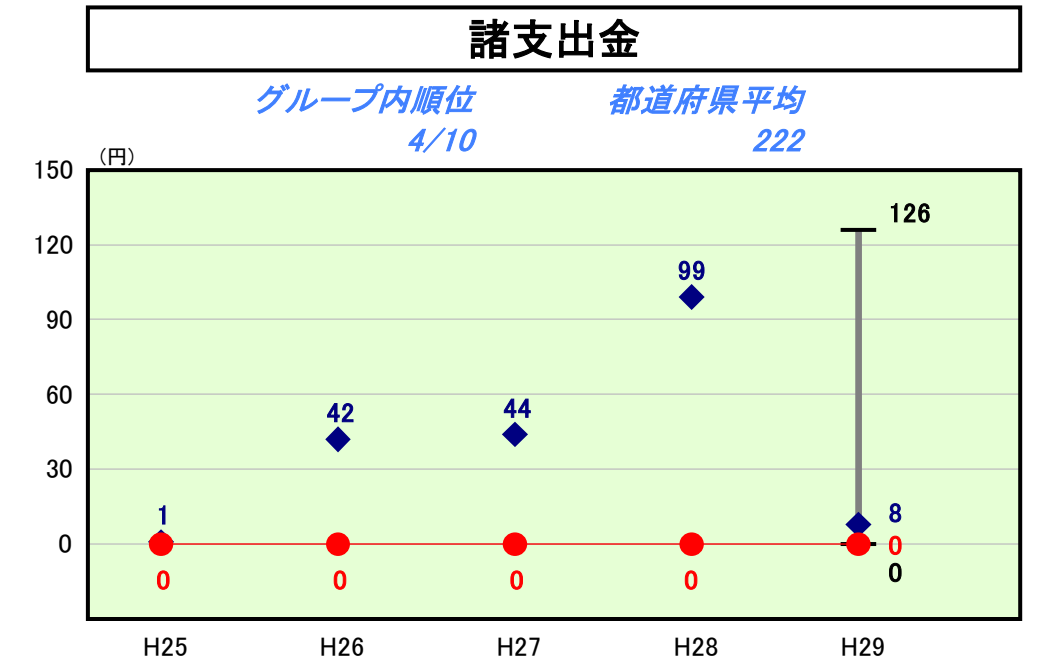
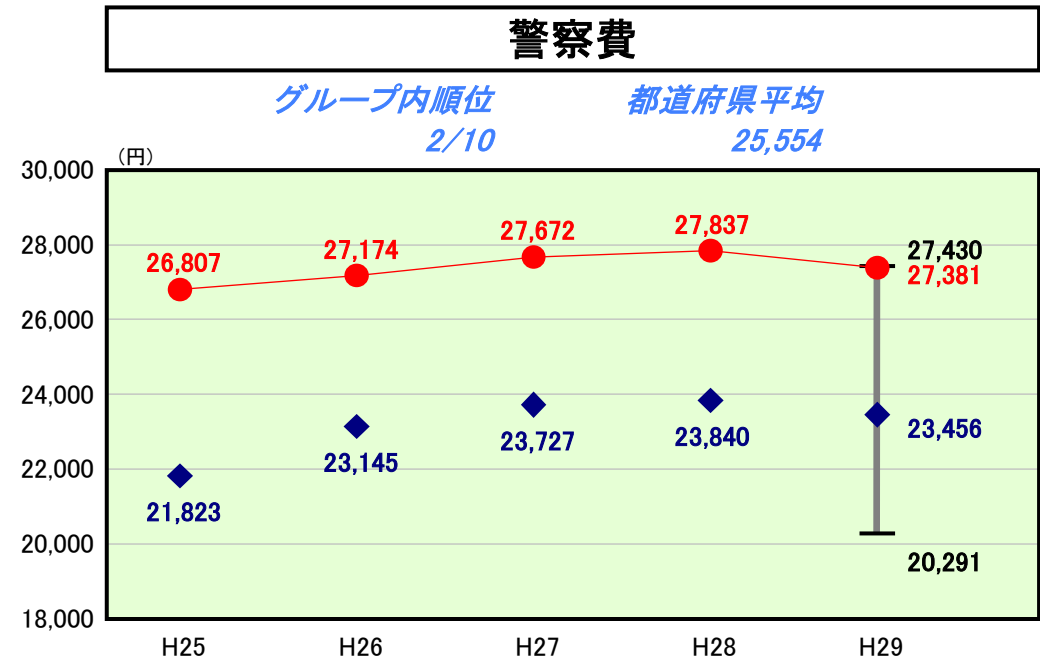
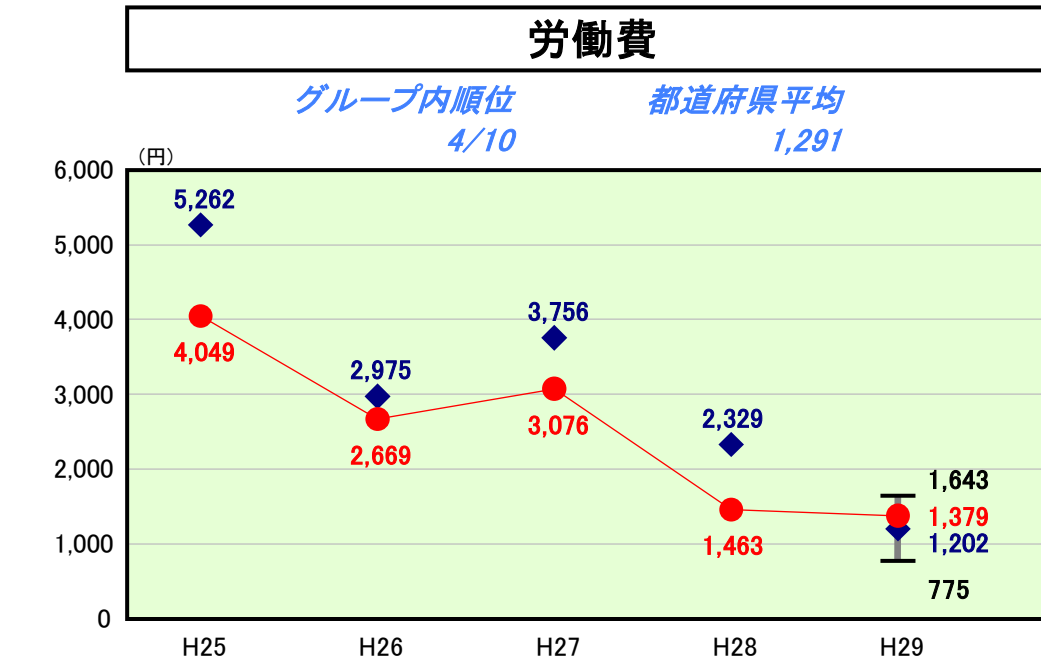
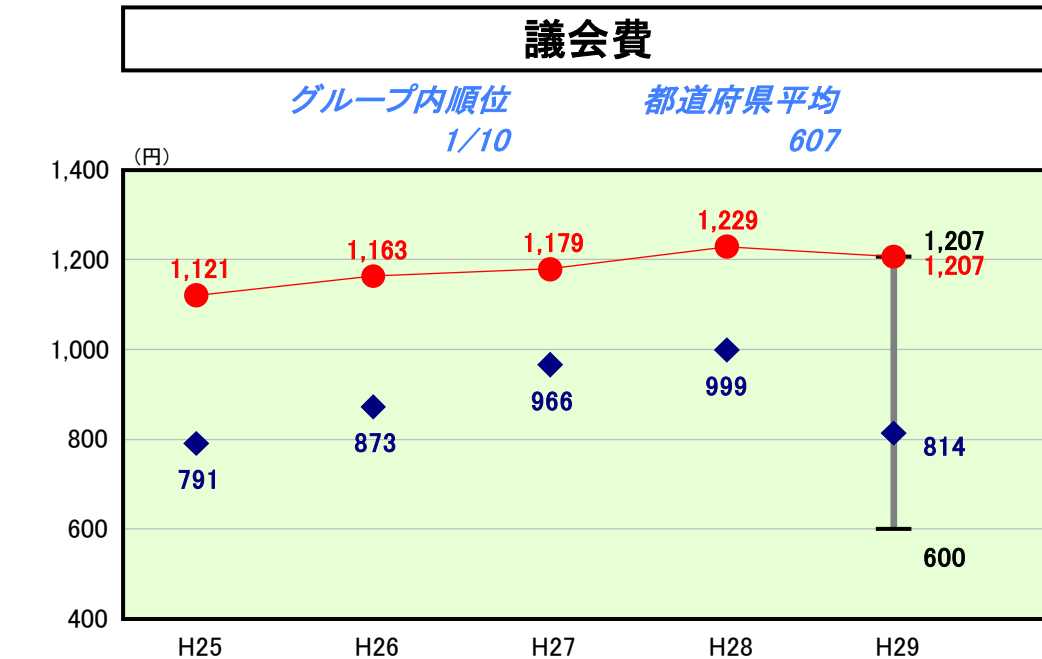
人口	790,758人(H30.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	777,330人(H30.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	4,190.51km <sup>2</sup>	実質公債費比率	13.3%
歳入総額	461,396,606千円	将来負担比率	169.2%
歳出総額	451,217,611千円	グループ	H25 D H26 D H27 D
実質収支	3,765,325千円	(年度毎)	H28 D H29 C
標準財政規模	256,055,887千円		
地方債現在高	819,458,666千円		

- 当該団体値
- ◆ グループ内平均値
- ┌ グループ内の
- └ 最大値及び最小値

※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。  
 [ Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満 ]

※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

※ グループ内順位及び都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合グループ内順位を表示しない。



**目的別歳出の分析欄**

本県は人口が少ないことから住民一人当たりのコストは他団体より高くなる傾向にある。

総務費は、住民一人当たり56,044円となっており、他団体と比較しても高い水準にあるが、これは北陸新幹線建設関連の事業が総務費に含まれているためである。

教育費は、住民一人当たり121,535円となっている。国体の開催に向けた施設整備などにより近年増加傾向にある。

公債費は、住民一人当たり106,782円となっている。23年度から27年度まで実施した繰上償還の影響もあり、近年減少傾向にある。

北陸新幹線整備や中部縦貫自動車道の整備などの大型プロジェクトが本格化していくが、引き続き歳出の合理化や抑制を図り、健全な財政の維持に努めていく。

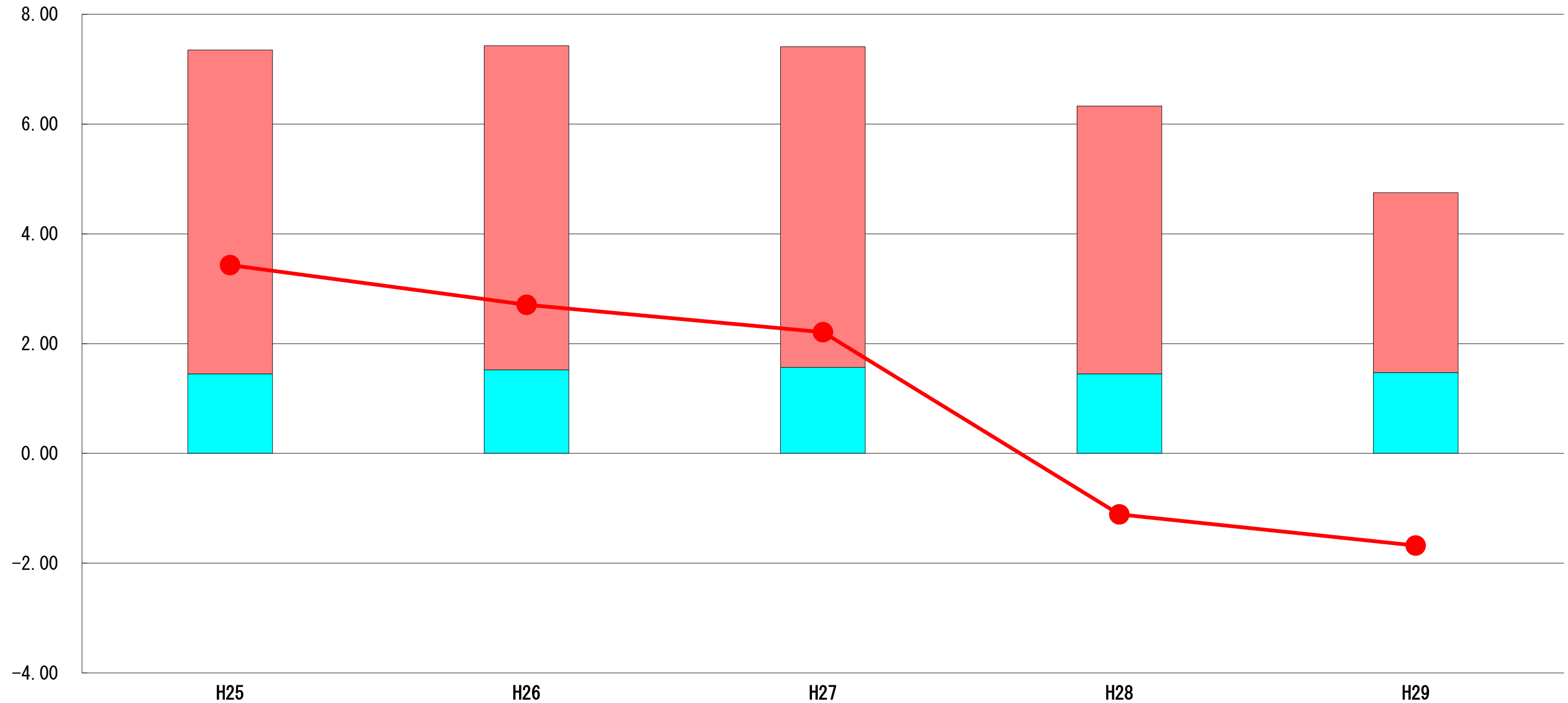


# (7) 実質収支比率等に係る経年分析（都道府県）




平成29年度

福井県

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H25	H26	H27	H28	H29
 財政調整基金残高		5.90	5.91	5.84	4.88	3.28
 実質収支額		1.45	1.52	1.57	1.45	1.47
 実質単年度収支		3.43	2.71	2.21	▲ 1.11	▲ 1.68

## 分析欄

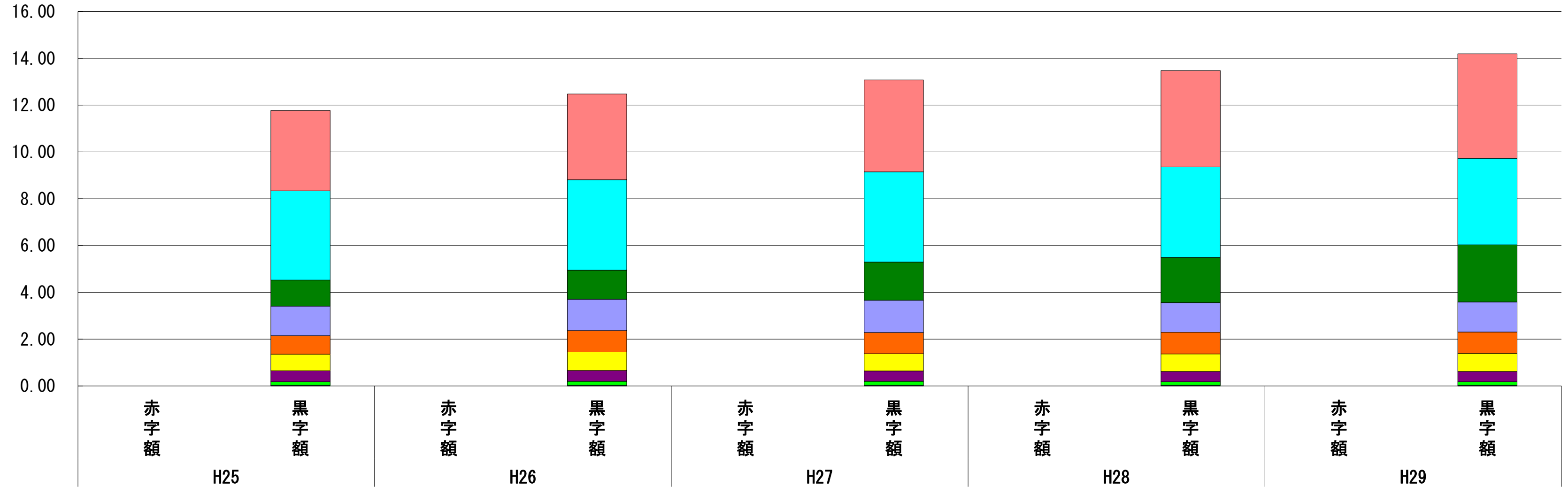
財政調整のための基金の残高は138億円となり第四次行財政改革実行プランの目標135億円を上回った。  
 実質収支は黒字であり、近年同水準で推移している。  
 実質単年度収支は北陸新幹線建設事業等の大型プロジェクトにより大きく悪化している。  
 北陸新幹線や中部縦貫自動車道の整備などの大型プロジェクトが本格化しているが、基金や県債の残高をコントロールしながら財政の健全化に努めている。

# (8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（都道府県）

平成29年度

福井県

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	H25	H26	H27	H28	H29
水道用水供給事業会計		3.43	3.66	3.93	4.11	4.46
病院事業会計		3.81	3.86	3.86	3.87	3.70
臨海工業用地等造成事業会計		1.12	1.25	1.63	1.93	2.44
一般会計		1.27	1.33	1.38	1.27	1.29
臨海下水道事業会計		0.78	0.92	0.90	0.92	0.91
工業用水道事業会計		0.71	0.79	0.74	0.75	0.77
下水道事業特別会計		0.47	0.46	0.44	0.44	0.44
証紙特別会計		0.15	0.17	0.17	0.15	0.15
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.03	0.03	0.03	0.03	0.03

## 分析欄

実質収支が赤字となっている会計はない。

特に、病院事業会計については、平成28年3月に「経営改革プラン」を策定し、同年9月にはプランを着実に推進するため、具体的方策等定めた「中期経営計画」を作成し、経営改革を進めている。平成29年度は、入院、外来ともに延患者数は減少したものの新患者数の増加や平均在院日数の短縮による入院単価アップ、難易度の高い手術の実施などにより、医業収益は約3億円の増収となった。一方、医業費用は給与改定等により給与費が増となったものの、減価償却費の減により約7千万円の減となった。医業外収益・費用を含む経常利益は約8千万円を計上している。

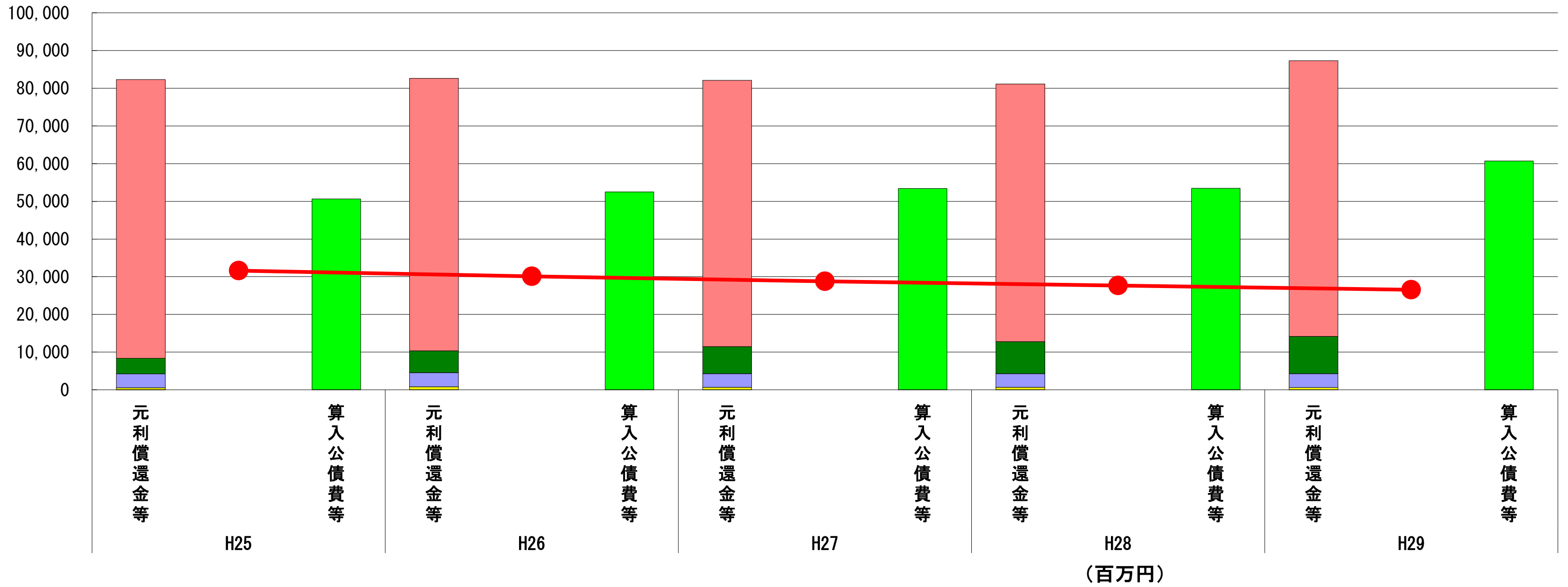


# (9) 実質公債費比率（分子）の構造（都道府県）

平成29年度

福井県

(百万円)



分子の構造		年度	H25	H26	H27	H28	H29
元利償還金等(A)	元利償還金		73,923	72,252	70,719	68,346	73,110
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		4,167	5,833	7,167	8,500	9,933
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		3,704	3,763	3,578	3,633	3,626
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		518	767	688	655	629
	一時借入金の利子		5	-	-	-	-
算入公債費等(B)	算入公債費等		50,675	52,511	53,377	53,481	60,733
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		31,642	30,104	28,775	27,653	26,565

**分析欄**

県債残高は23年度以降減少しており、実質公債費比率も23年度をピークに改善している。

平成29年度は「ふくい逸品創造ファンド出資金の借換等により元利償還金が一時的に増加した。

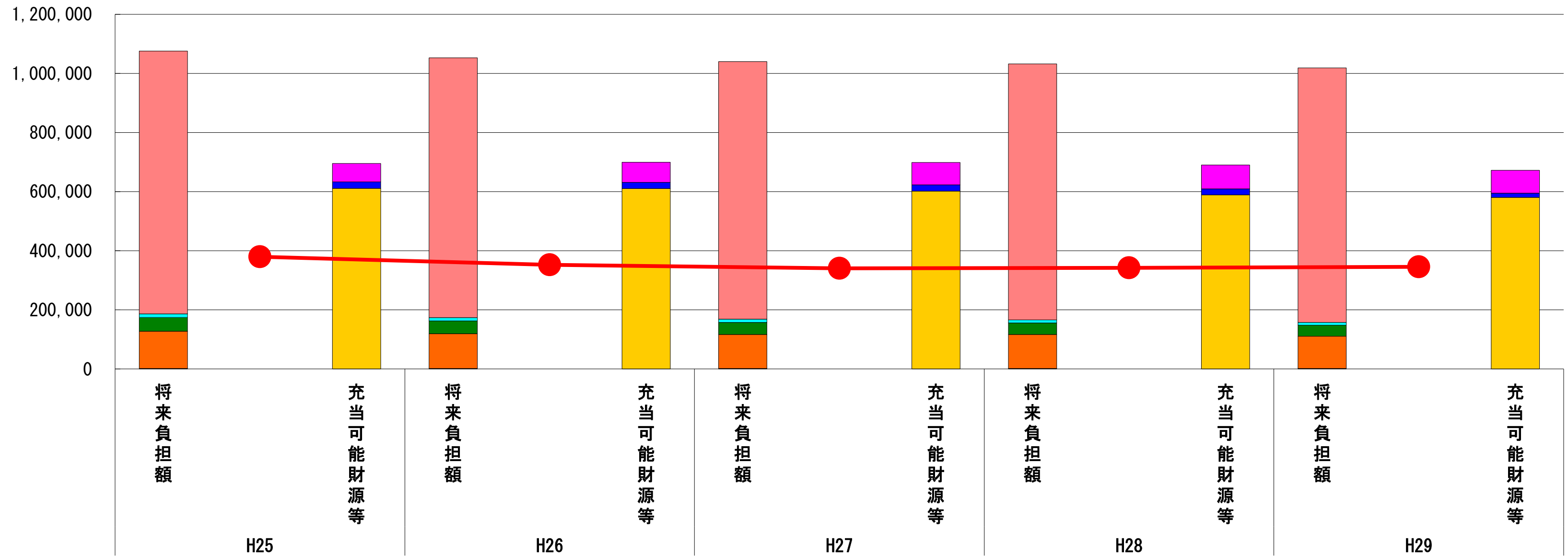
また、平成21年度以降市場公募債を発行しているため、満期一括地方債にかかる年度割相当額は増加している。

# (10) 将来負担比率（分子）の構造（都道府県）

平成29年度

福井県

(百万円)



(百万円)

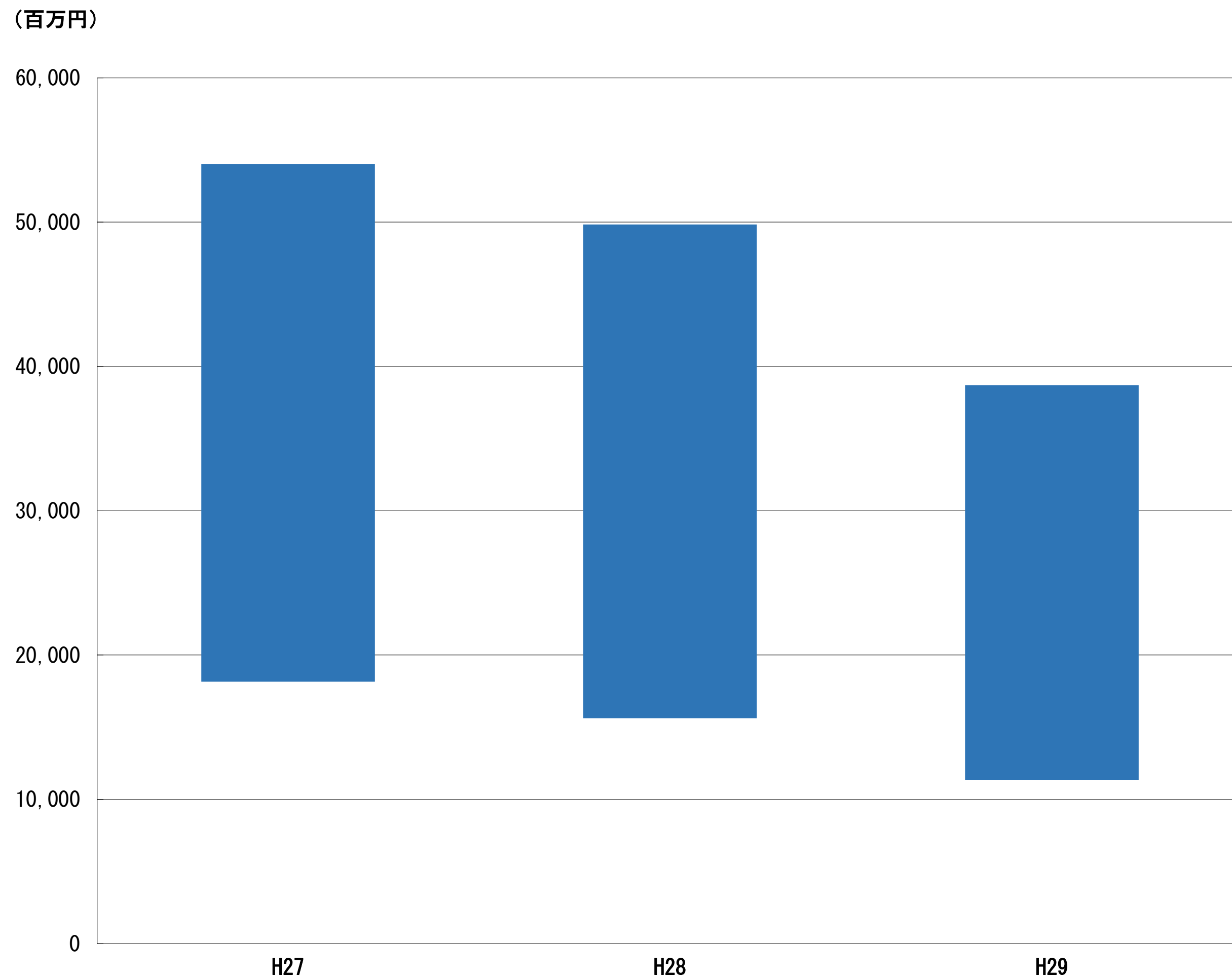
分子の構造		年度	H25	H26	H27	H28	H29
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		889,242	878,660	871,423	866,636	860,853
	債務負担行為に基づく支出予定額		11,737	11,025	10,373	9,794	9,260
	公営企業債等繰入見込額		46,499	43,151	40,709	39,384	37,339
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		125,935	117,363	114,915	114,534	108,803
	設立法人等の負債額等負担見込額		2,169	2,234	2,450	2,437	2,326
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		61,768	67,556	76,046	80,853	77,177
	充当可能特定歳入		22,616	21,694	21,012	20,223	15,063
	基準財政需要額算入見込額		611,105	610,257	601,845	588,948	580,305
(A) - (B)	将来負担比率の分子		380,093	352,926	340,967	342,762	346,036

## 分析欄

将来負担比率は昨年度に比べて4.3ポイント増加している。  
 分子は公共事業の抑制による地方債残高の減、公営企業債の償還の進捗による公営企業債等繰入見込額の減となっている。  
 一方、分母において標準財政規模が減少したことにより、将来負担比率は増加した。引き続き、投資的経費の重点化等により起債を抑制することで、将来負担比率の改善に努めていく。



# (11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（都道府県）



区分	年度	H27	H28	H29
財政調整基金		15,218	12,688	8,390
減債基金		2,946	2,950	2,964
その他特定目的基金		35,868	34,207	27,347
地域振興基金		11,059	10,893	7,444
地域活性化基金		6,289	5,015	3,273
スポーツふくい基金		4,578	4,258	2,900
地域医療介護総合確保基金		1,824	3,101	2,768
後期高齢者医療財政安定化基金		1,750	1,870	1,990
基金残高合計		54,032	49,845	38,701

平成29年度

福井県

## 基金全体

（増減理由）

北陸新幹線建設事業や台風21号に対応した公共事業の増に伴う財政調整基金の取り崩し等により、基金全体としては111億円の減となった。

（今後の方針）

北陸新幹線や中部縦貫自動車道の整備、並行在来線の資産取得等により減少する見込み。

## 財政調整基金

（増減理由）

北陸新幹線建設工事の本格化等により約43億円の減となった。

（今後の方針）

長期の財政見通し（平成30～39年度）のもとに、財政調整のための基金残高について100億円以上確保することを目標としている。

## 減債基金

（増減理由）

運用利子を積み立てたことにより約1,400万円増加した。

（今後の方針）

長期の財政見通し（平成30～39年度）のもとに、財政調整のための基金残高について100億円以上確保することを目標としている。

## その他特定目的基金

（基金の用途）

地域振興基金：個性豊かな地域社会づくり

地域活性化基金：地域の活性化

スポーツふくい基金：生涯にわたりスポーツを楽しむ機会の提供、国際的な規模のスポーツの競技会において活躍できる優秀な選手

の育成ならびに第七十三回国民体育大会および第十八回全国障害者スポーツ大会の円滑な運営により、県民

が広くスポーツに親しむことができる環境の整備

（増減理由）

地域振興基金：起債償還等のため約35億円取り崩したことによる減

地域活性化基金：企業立地促進補助金等のため、約30億円取り崩したことによる減

スポーツふくい基金：国体関連事業のため約15億円取り崩したことによる減

（今後の方針）

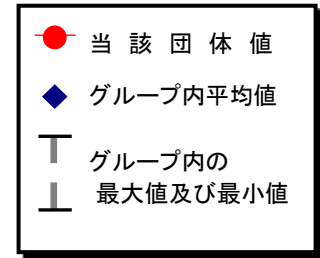
スポーツふくい基金：国体開催年度である平成30年度末までに基金残高が約3億円まで減少する見込み。

# (12) 都道府県公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

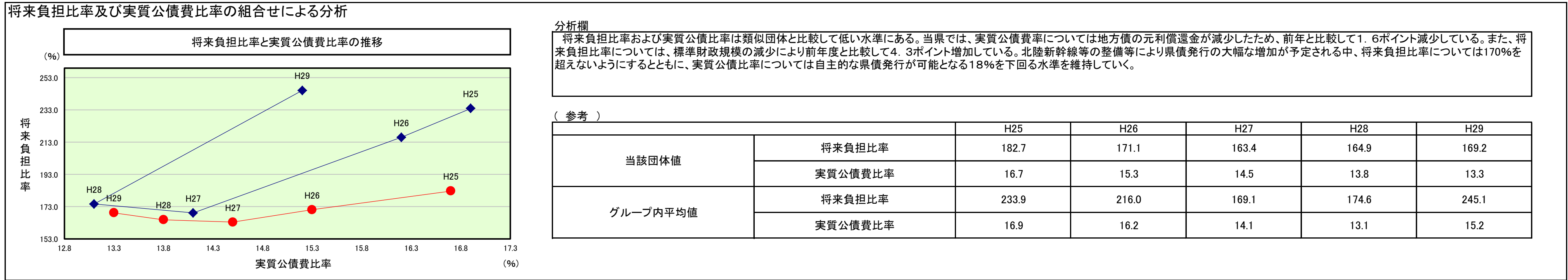
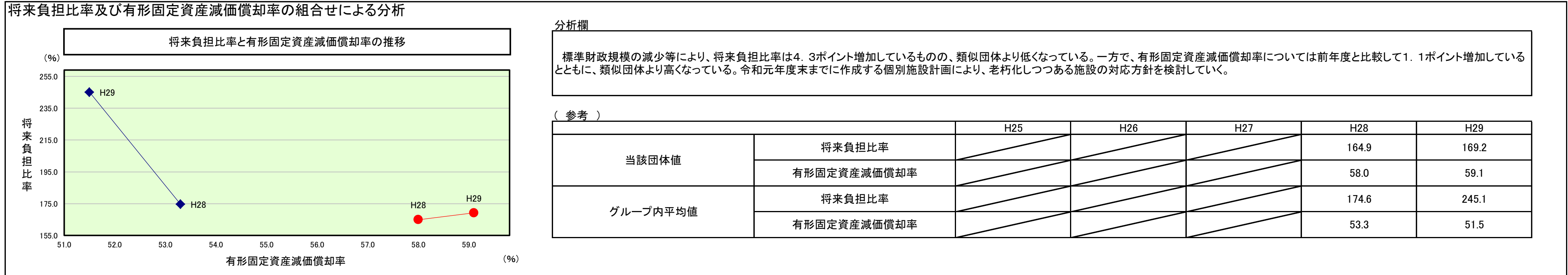
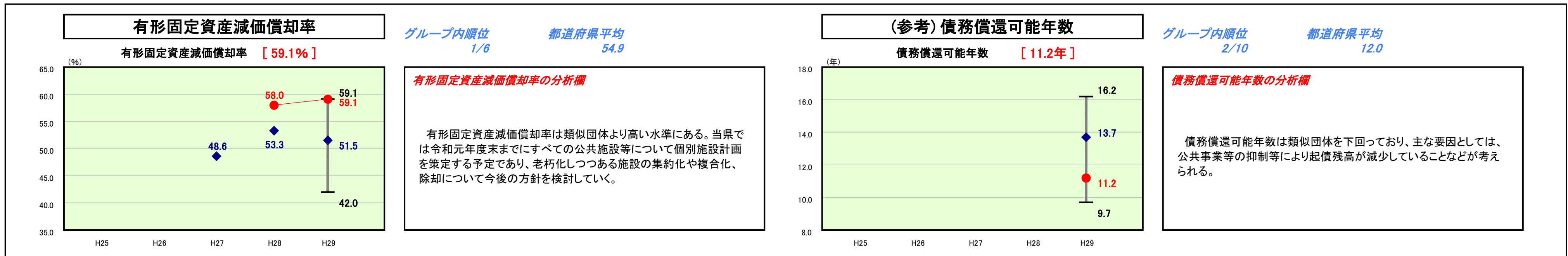
平成29年度

福井県

人口	790,758人	(H30.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	777,330人	(H30.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	4,190.51	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	13.3	%
歳入総額	461,396,606	千円	将来負担比率	169.2	%
歳出総額	451,217,611	千円	グループ	H25 D H26 D H27 D	
実質収支	3,765,325	千円	(年度毎)	H28 D H29 C	
標準財政規模	256,055,887	千円			
地方債現在高	819,458,666	千円			



※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。  
 [ Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満 ]  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合、グループ内順位を表示しない。



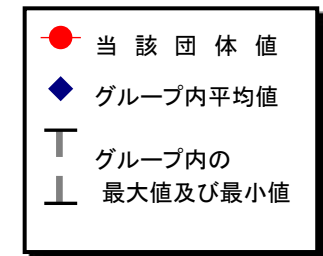


# (13)-1 都道府県施設類型別ストック情報分析表①

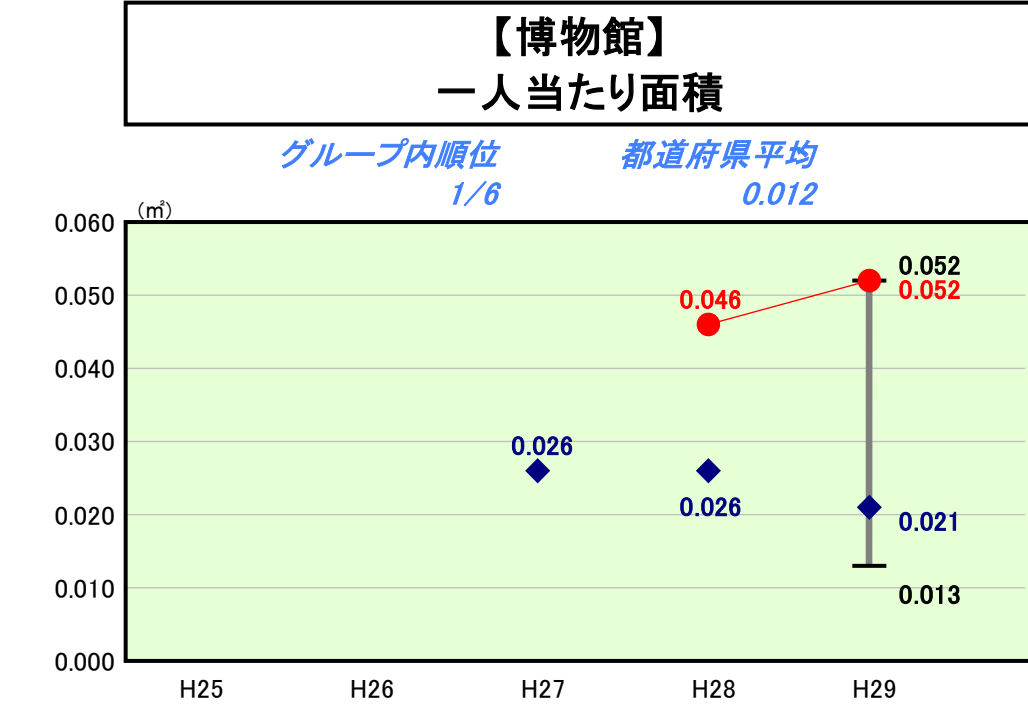
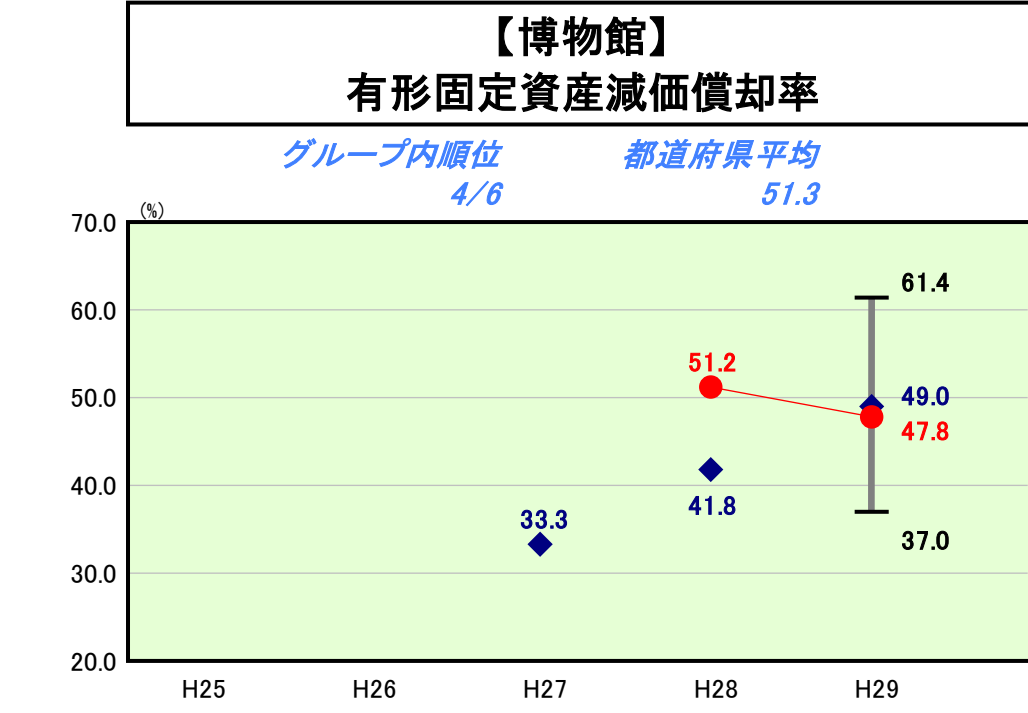
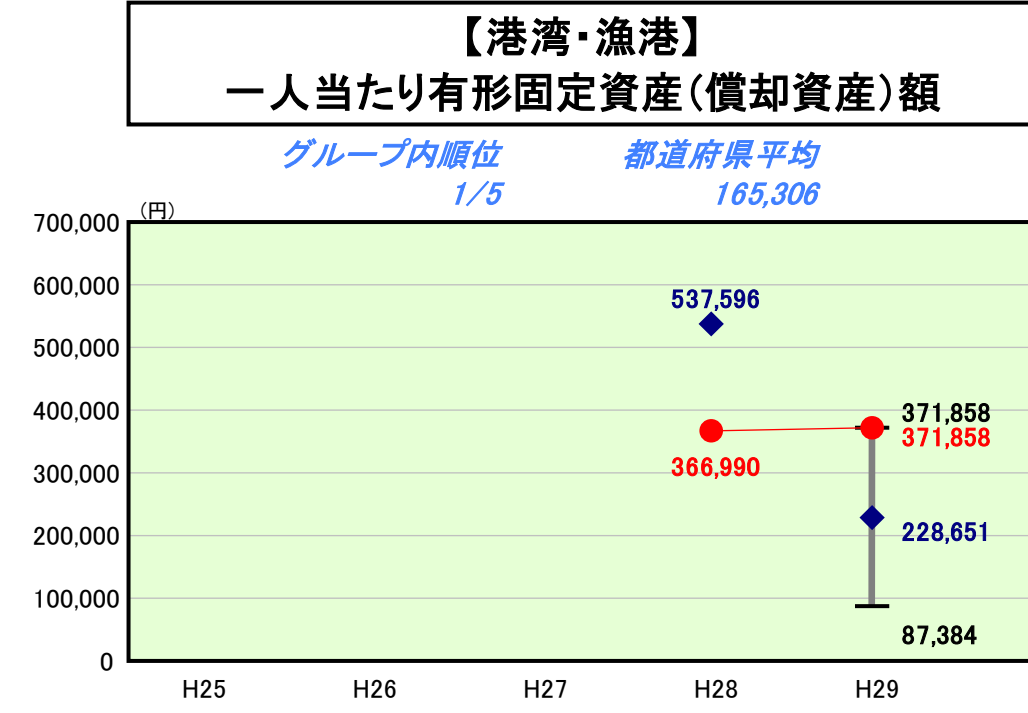
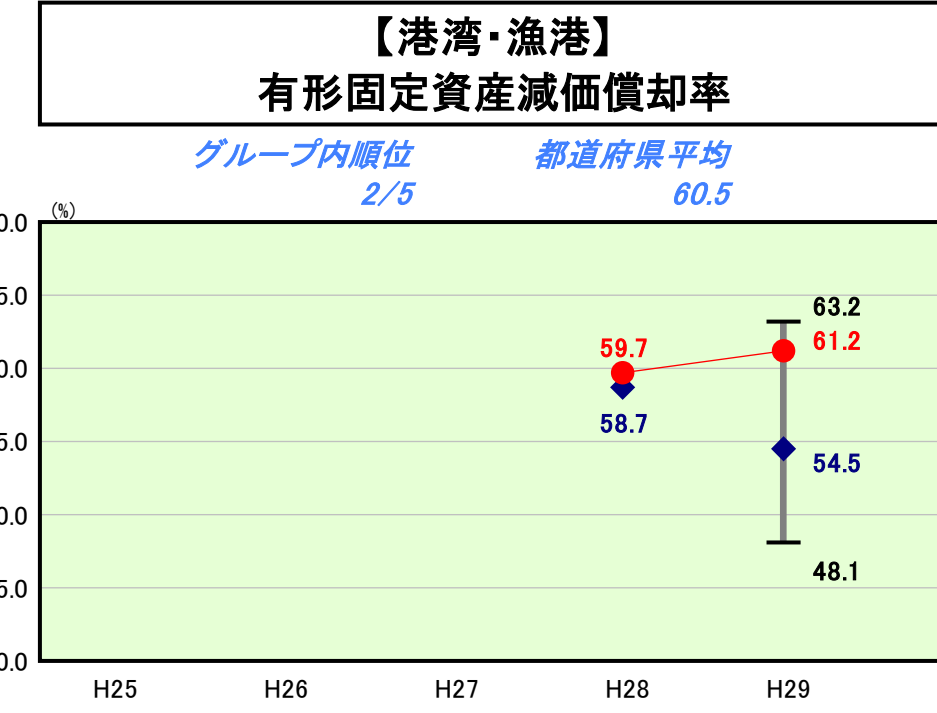
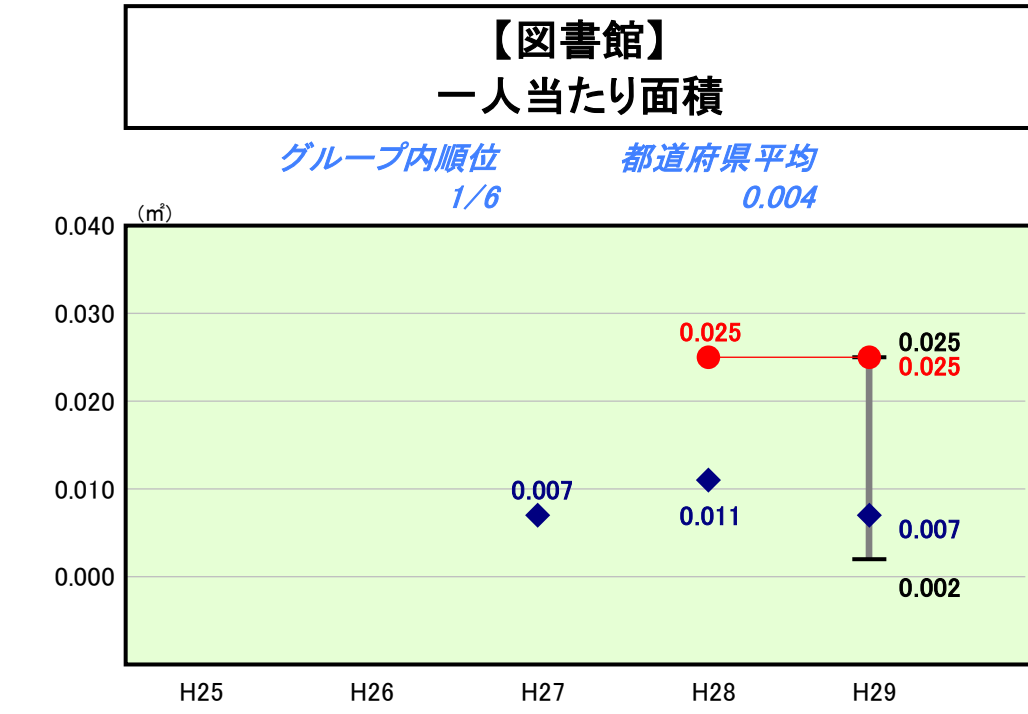
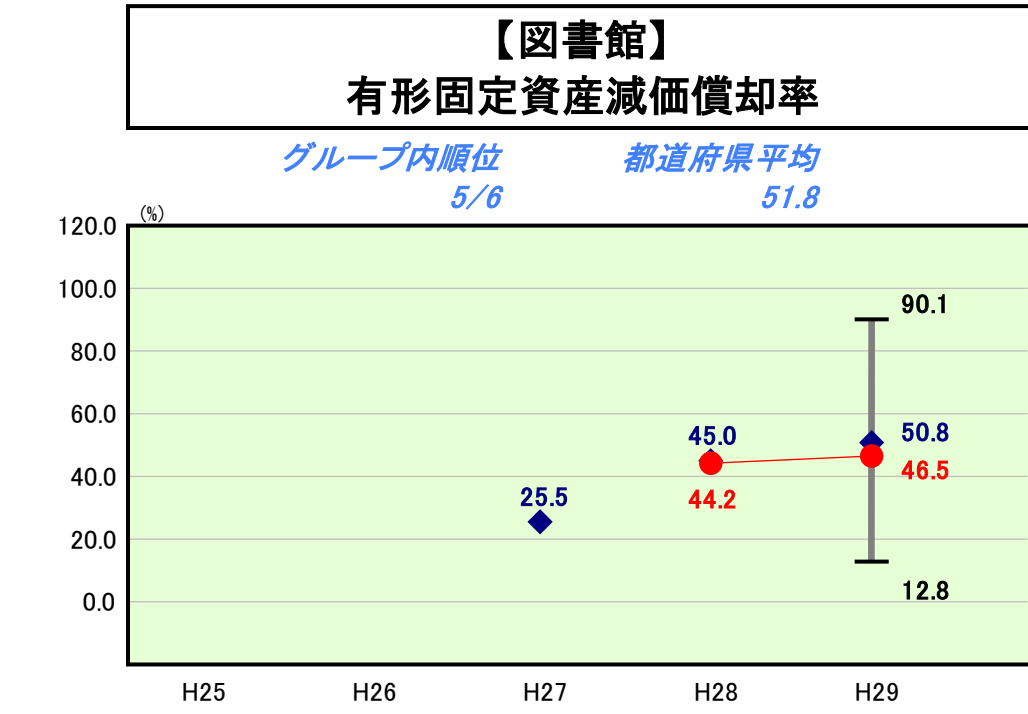
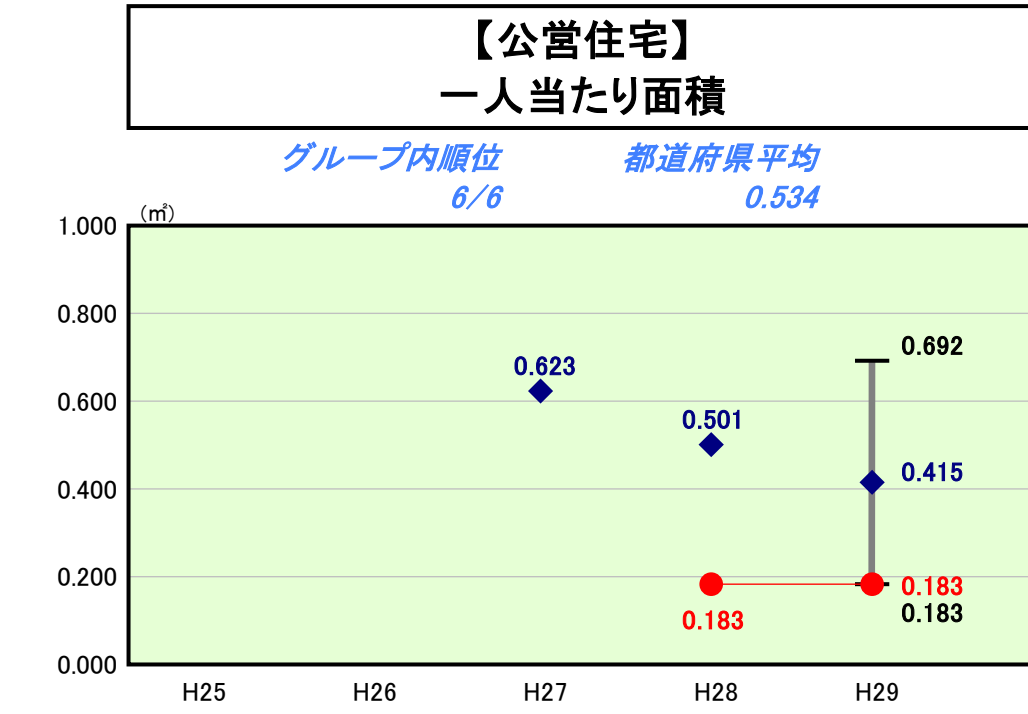
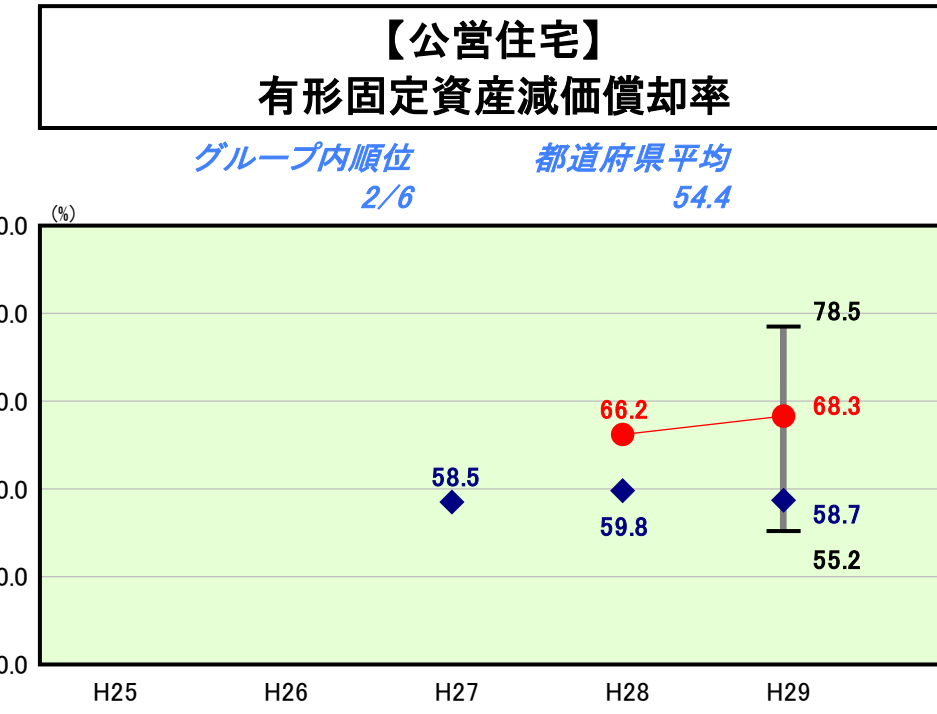
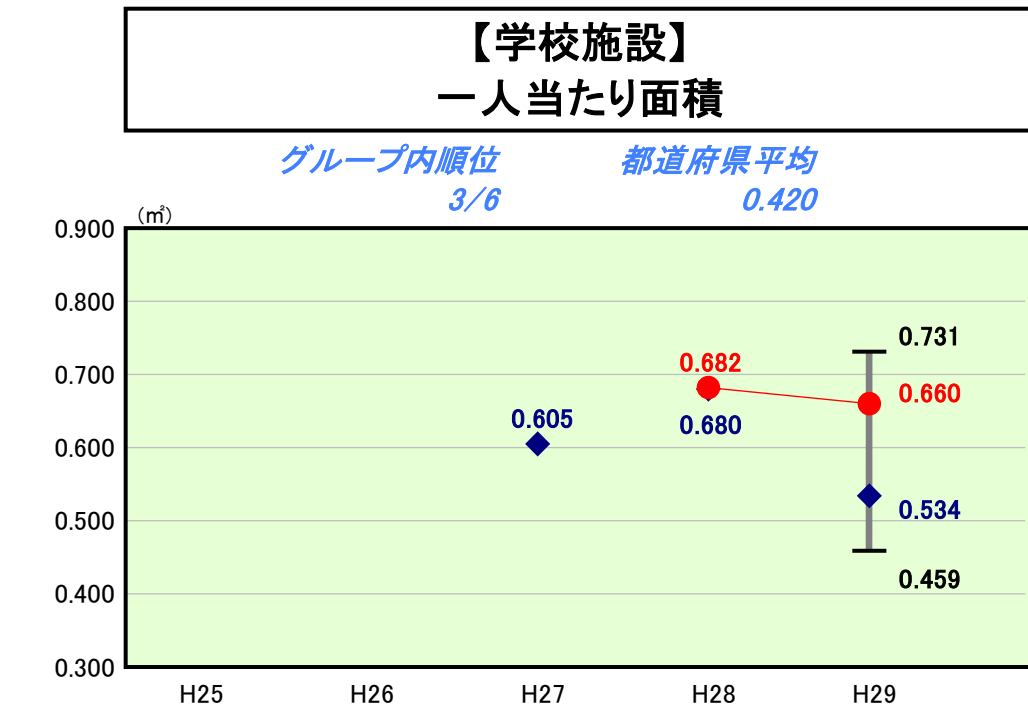
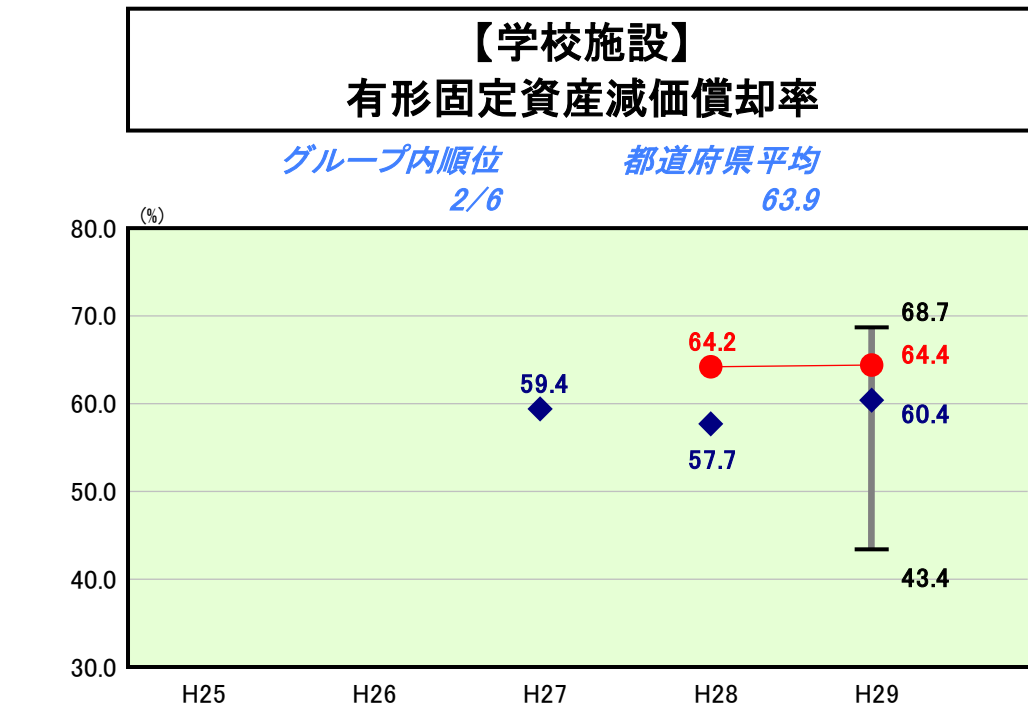
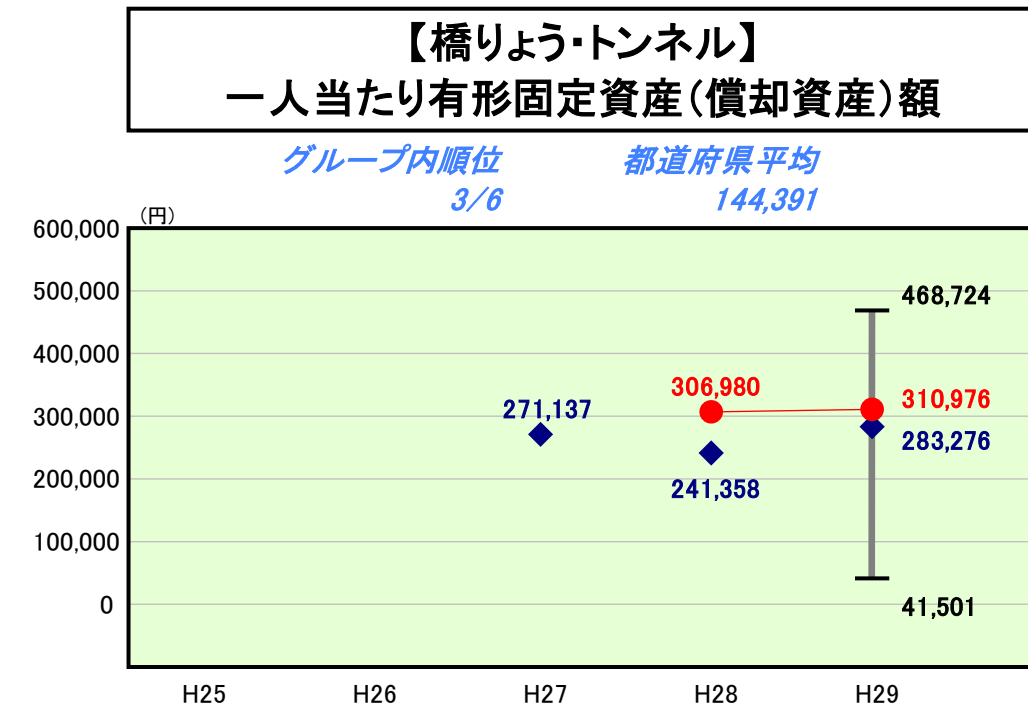
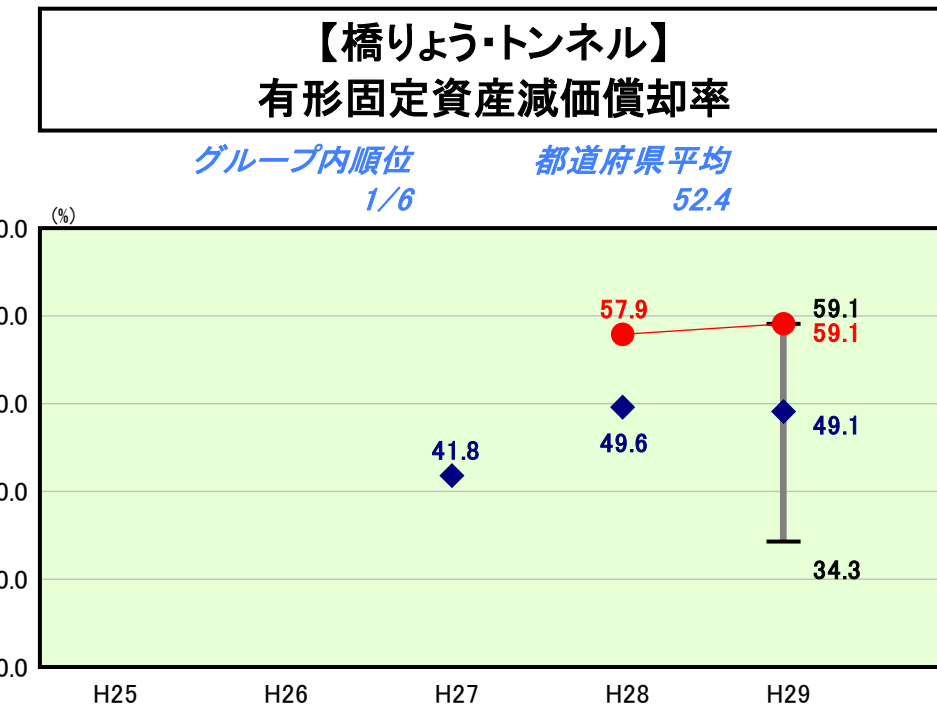
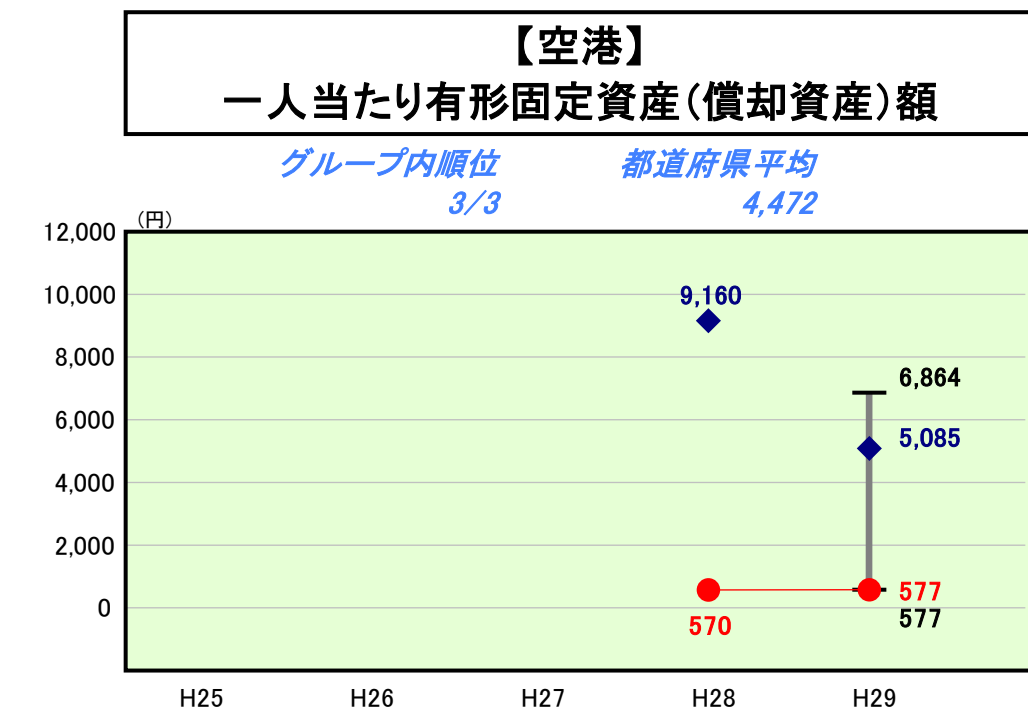
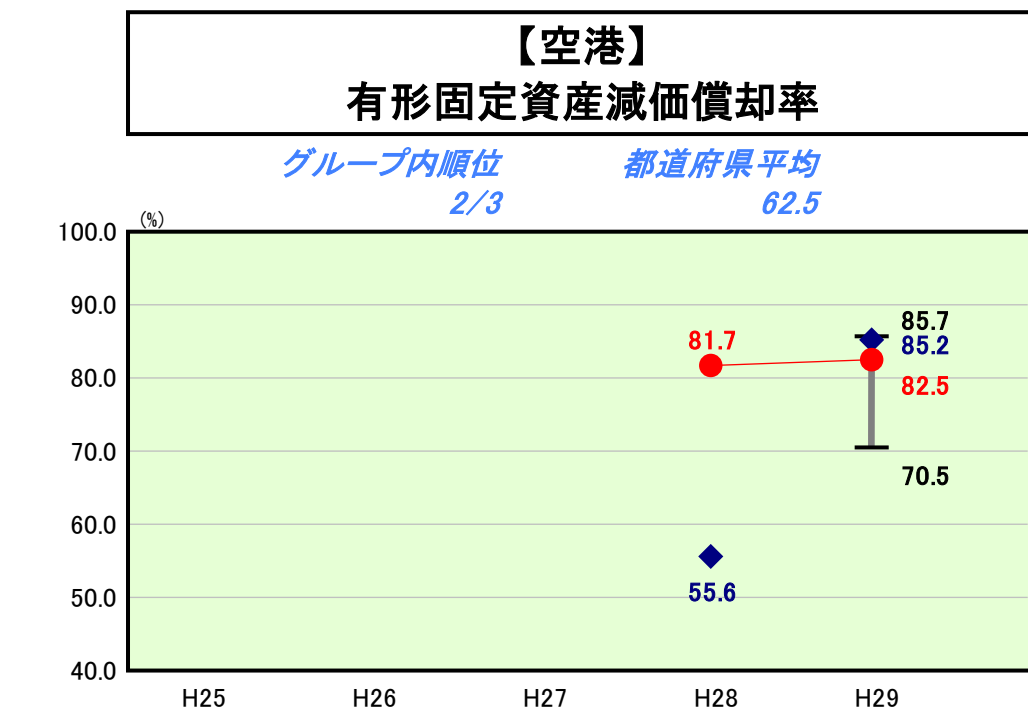
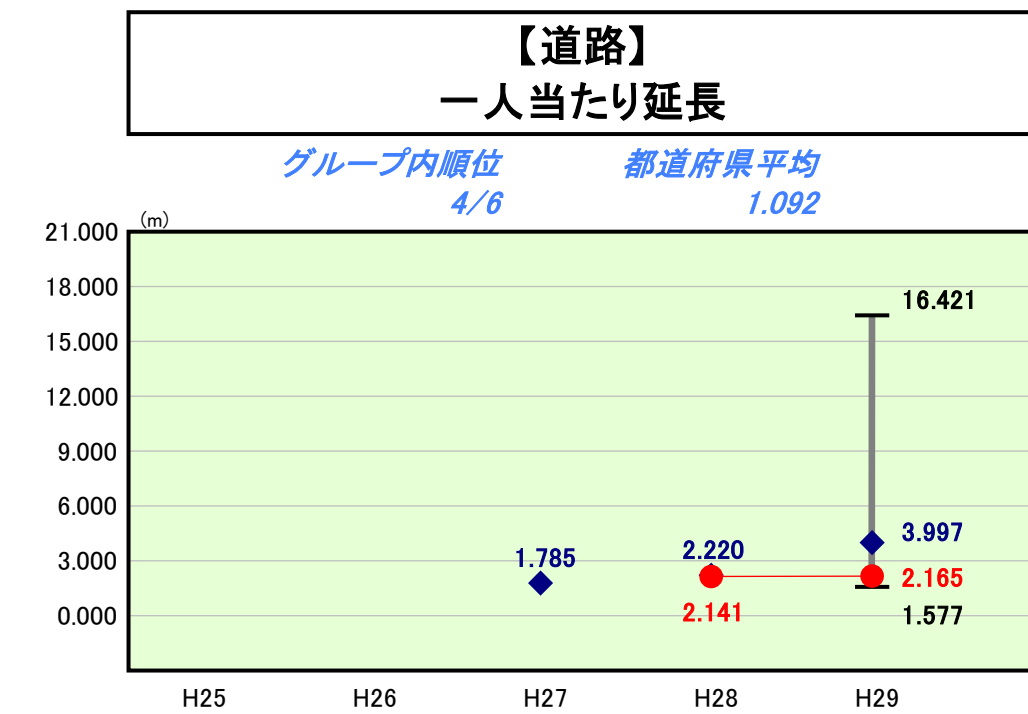
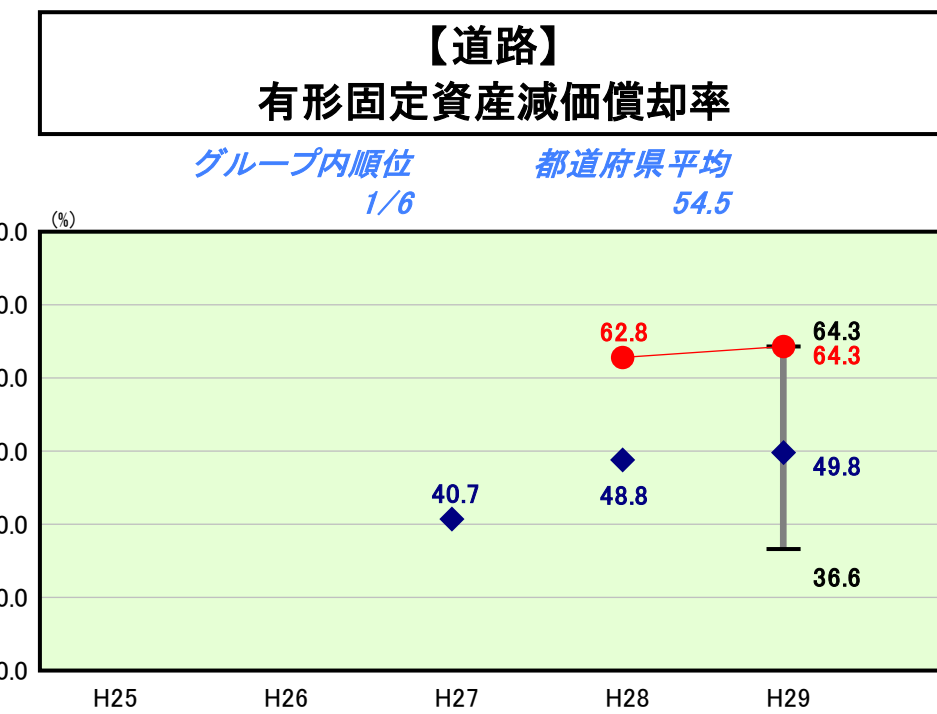
平成29年度

福井県

人口	790,758人 (H30.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	777,330人 (H30.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	4,190.51 km <sup>2</sup>	実質公債費比率	13.3%
歳入総額	461,396,606千円	将来負担比率	169.2%
歳出総額	451,217,611千円	グループ	H25 D H26 D H27 D
実質収支	3,765,325千円	(年度毎)	H28 D H29 C
標準財政規模	256,055,887千円		
地方債現在高	819,458,666千円		



※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。  
 ( Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満 )  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合グループ内順位を表示しない。



#### 施設情報の分析欄

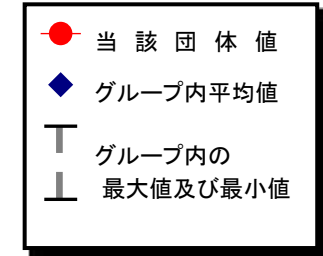
ほとんどの類型において、有形固定資産減価償却率は類似団体平均を上回っている。当県では令和元年度末までにすべての公共施設等について個別施設計画を策定する予定であり、老朽化しつつある施設の集約化や複合化、除却について今後の方針を検討していく。

# (13)-2都道府県施設類型別ストック情報分析表②

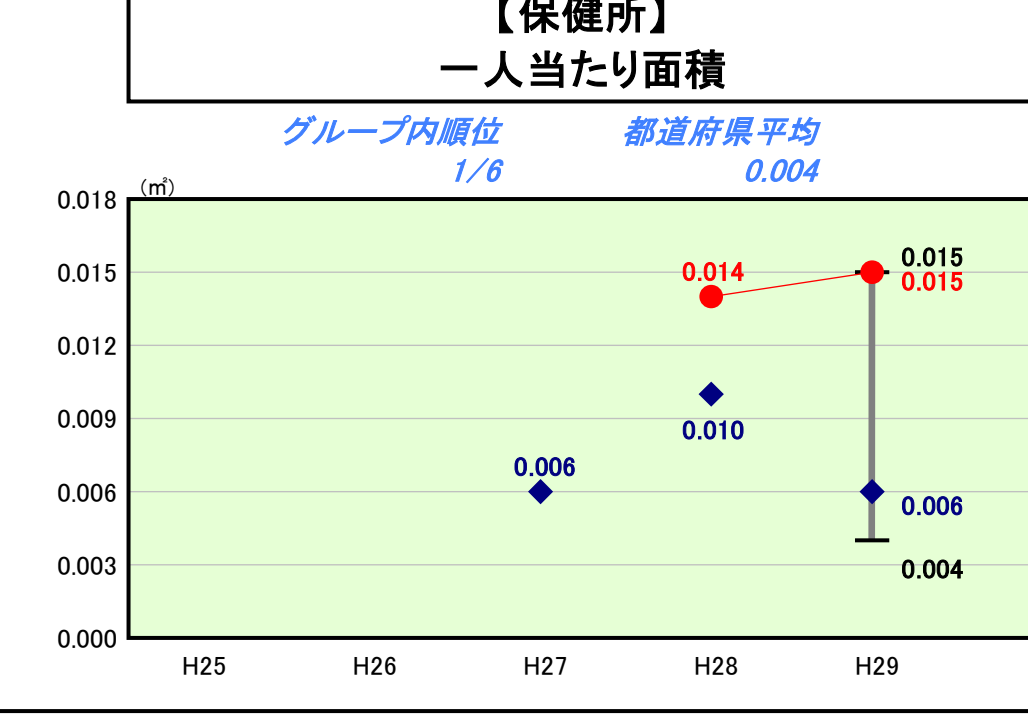
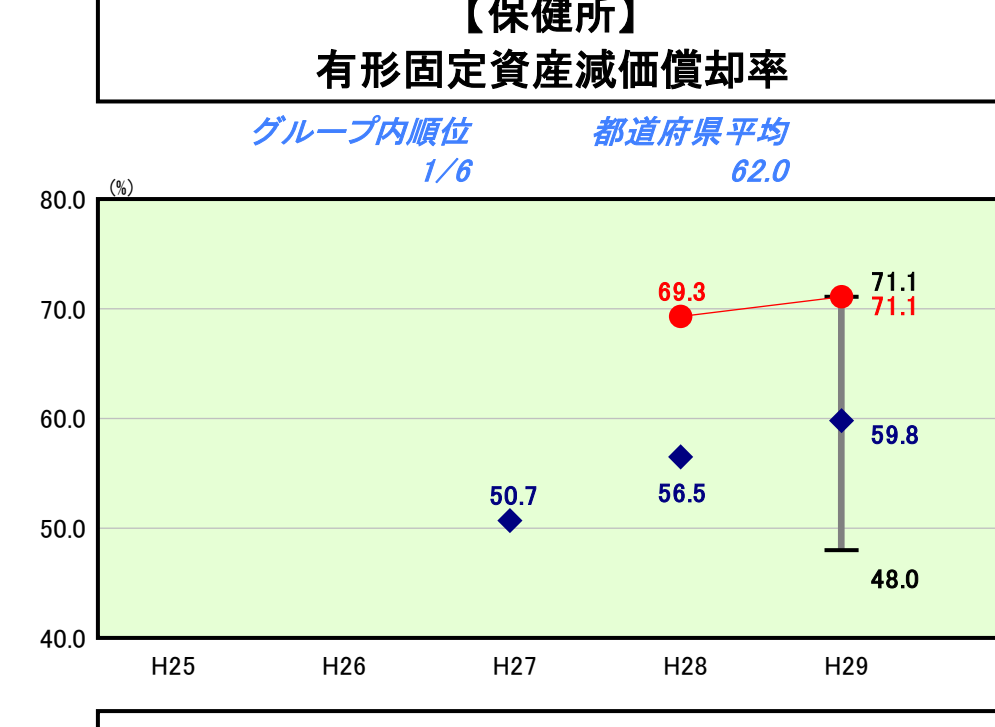
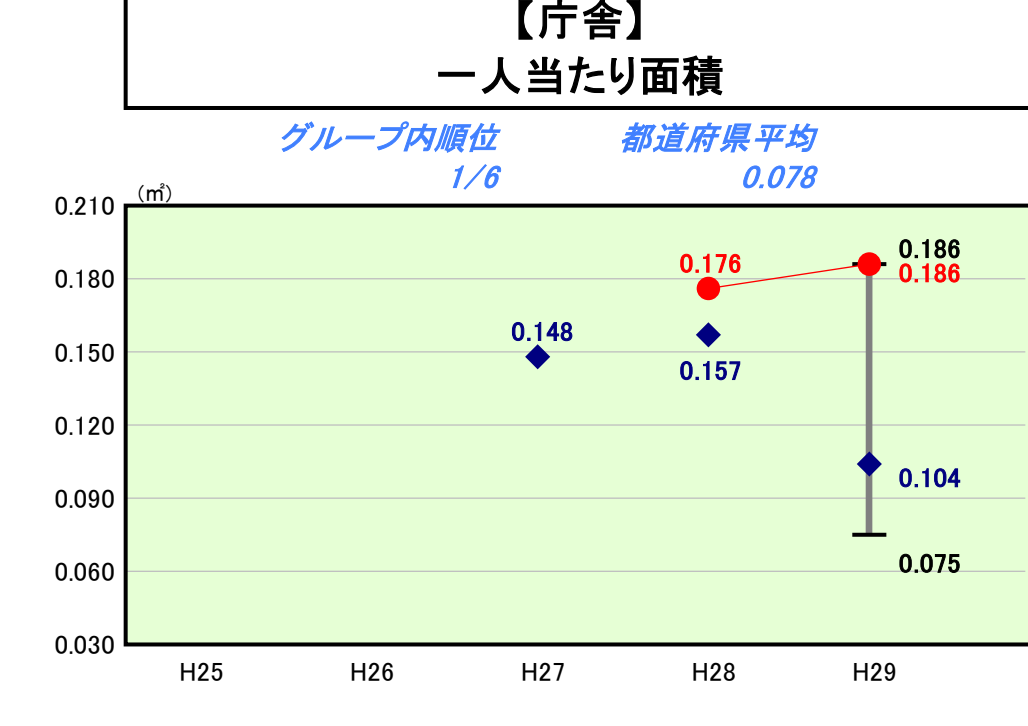
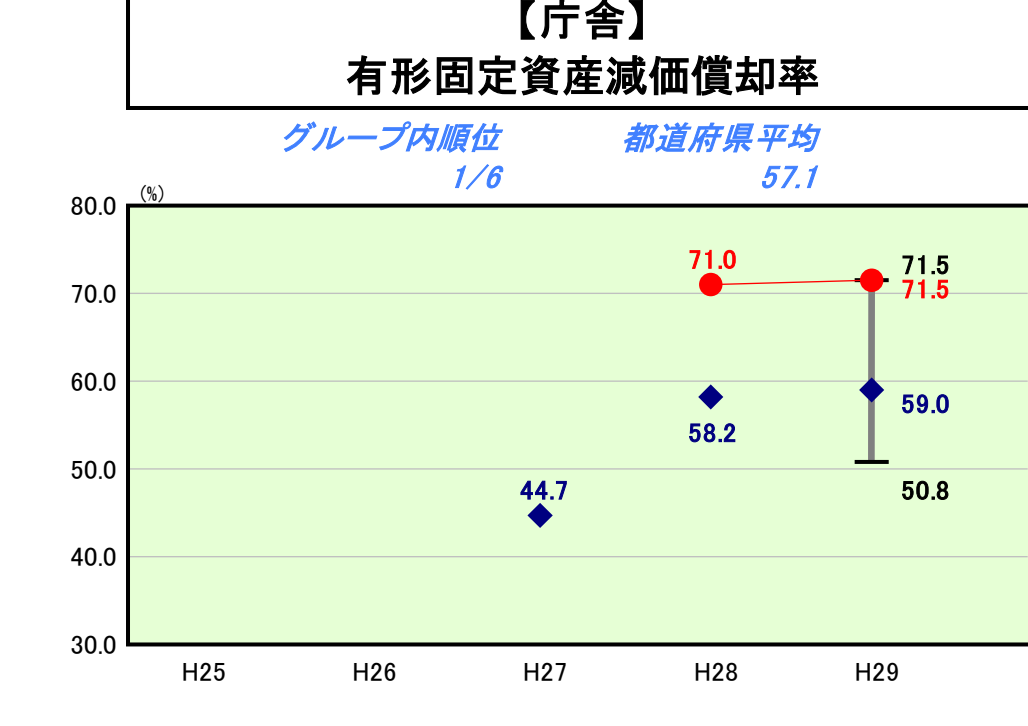
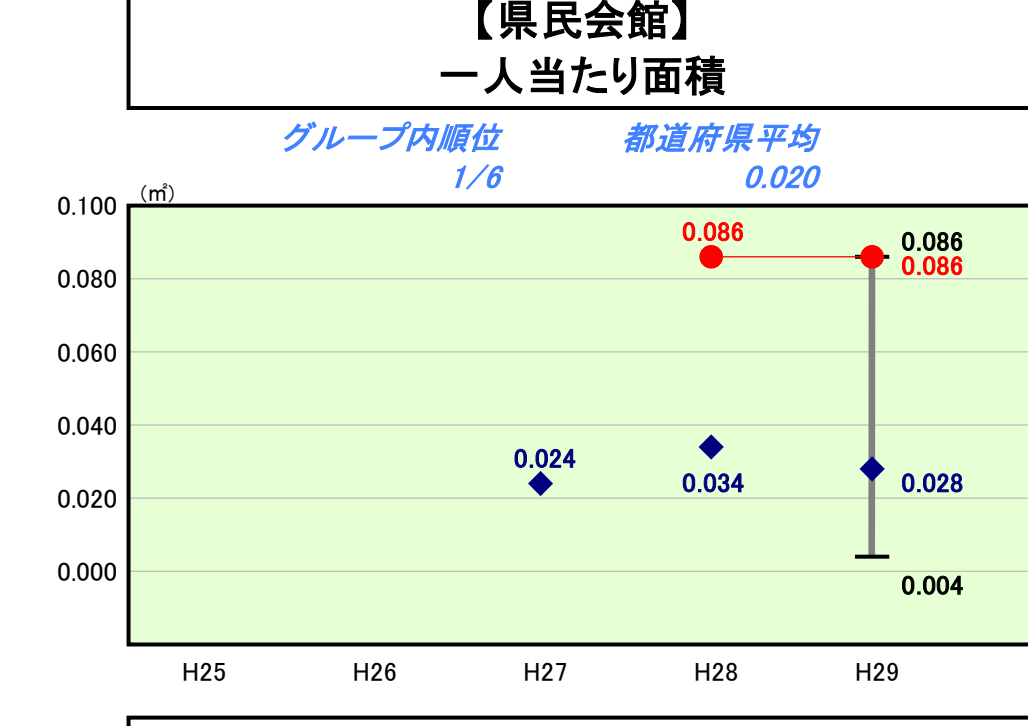
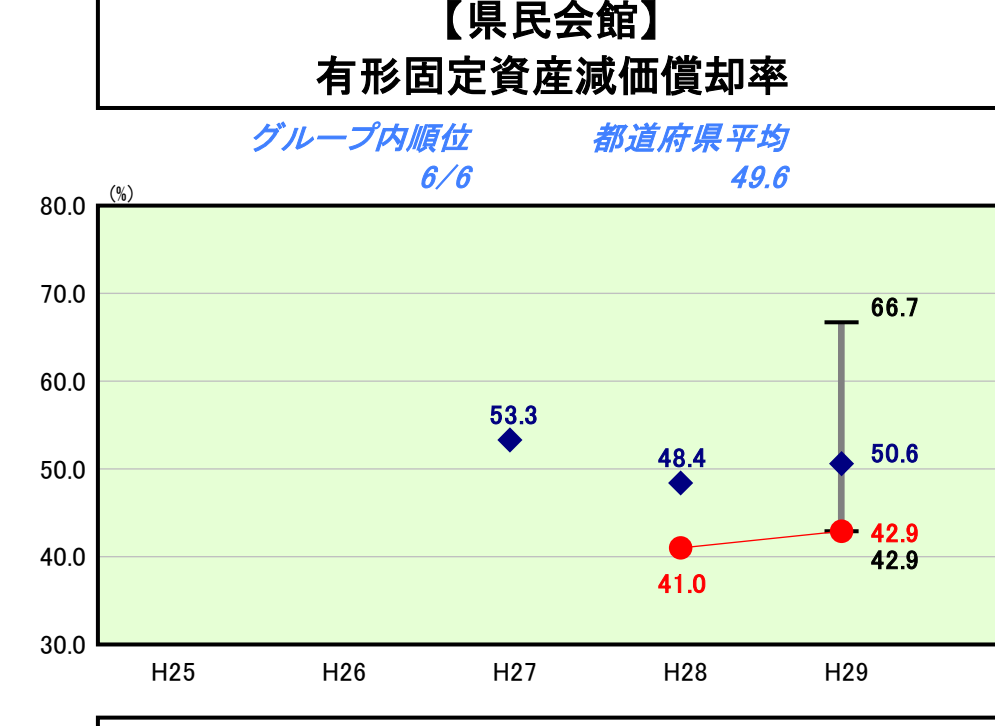
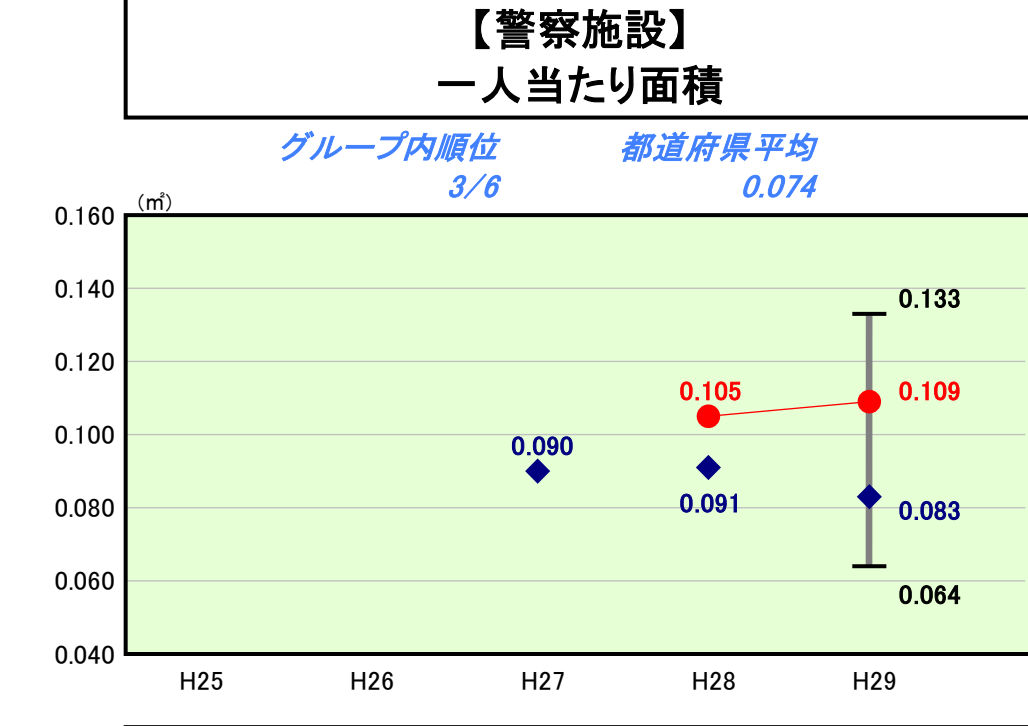
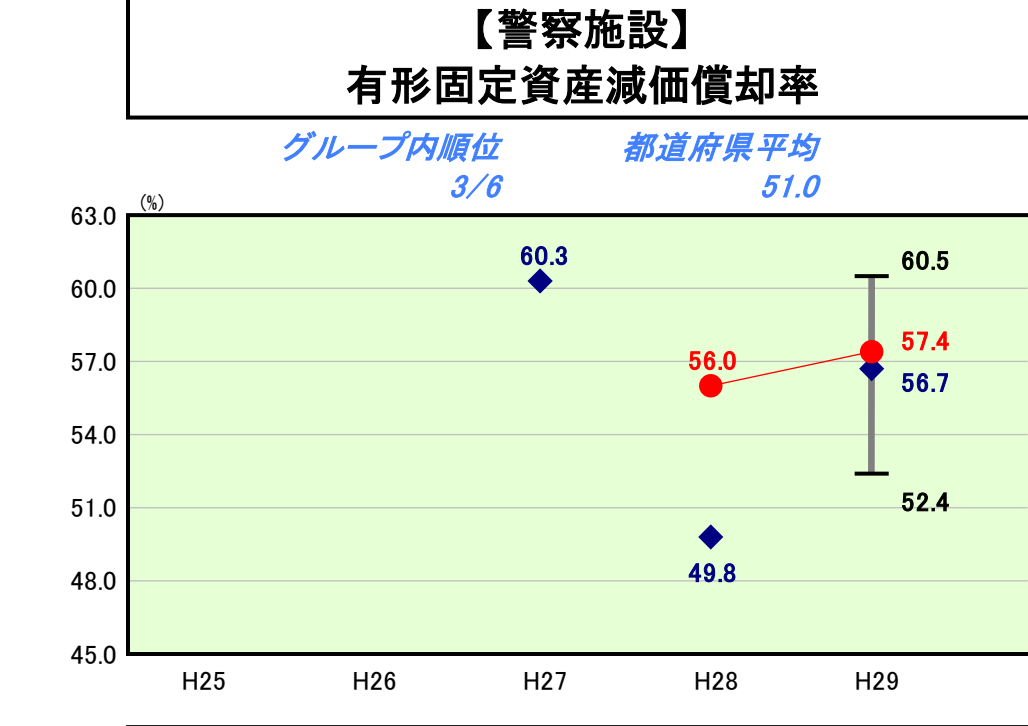
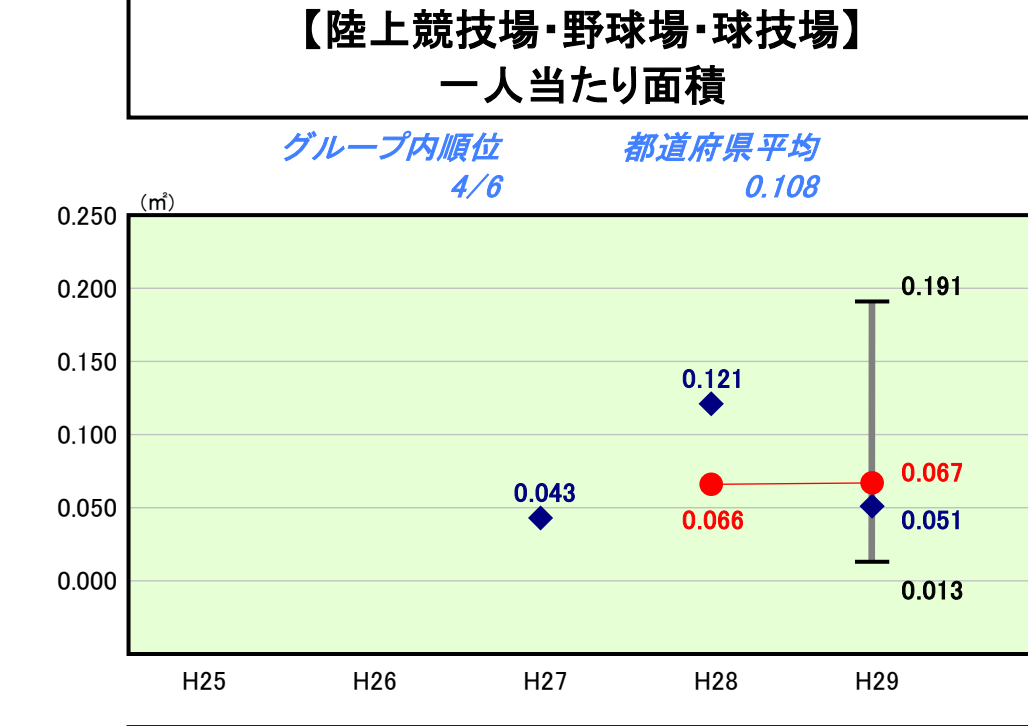
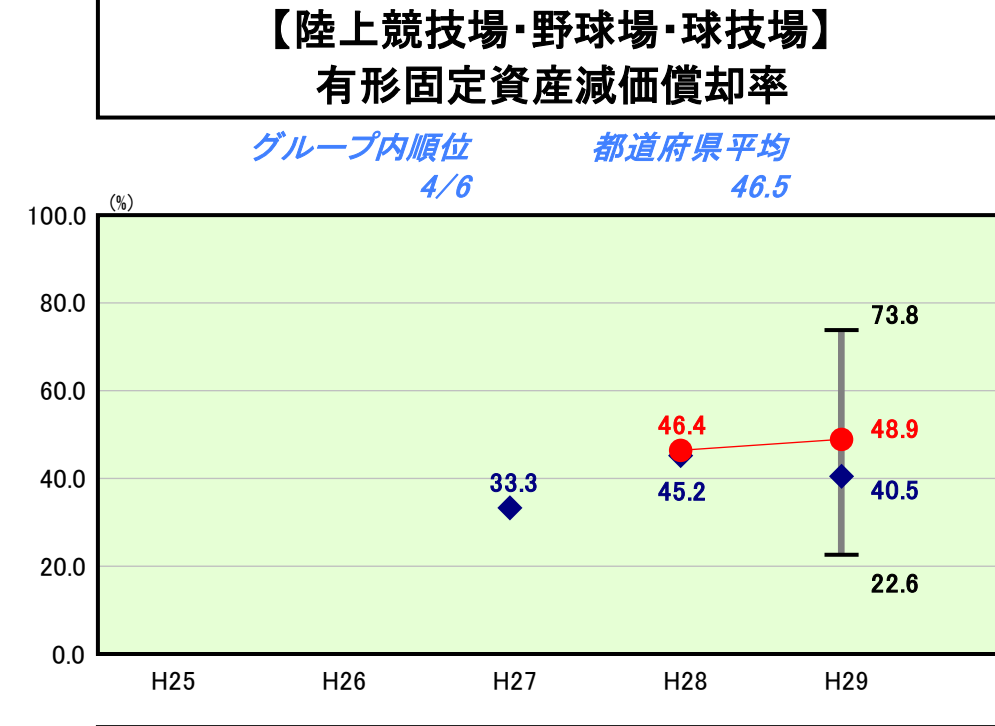
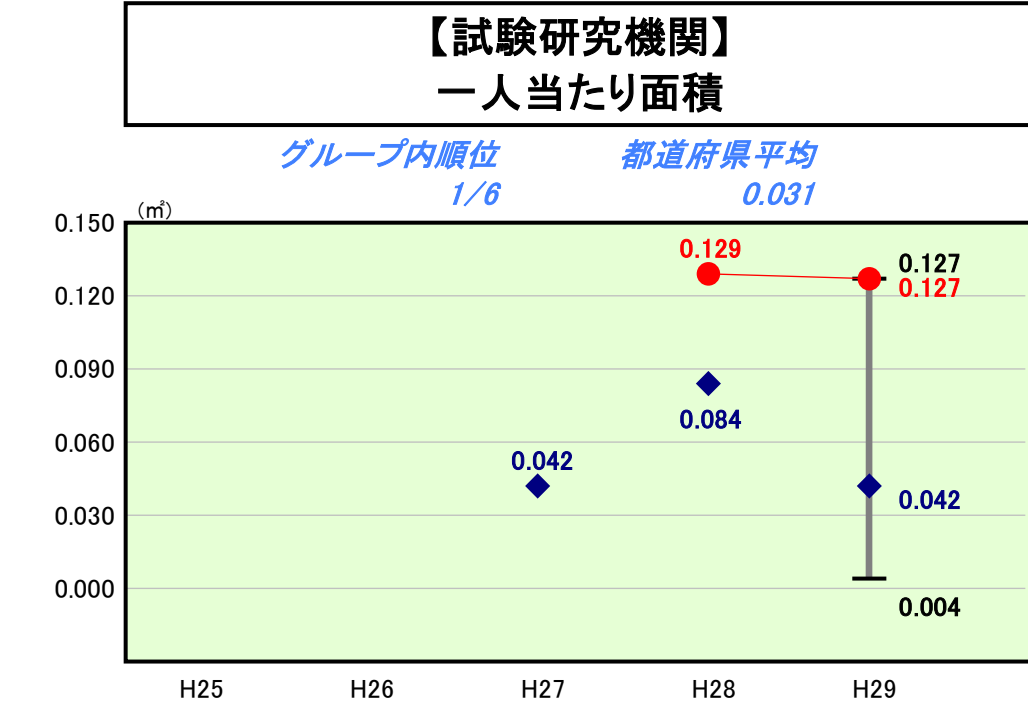
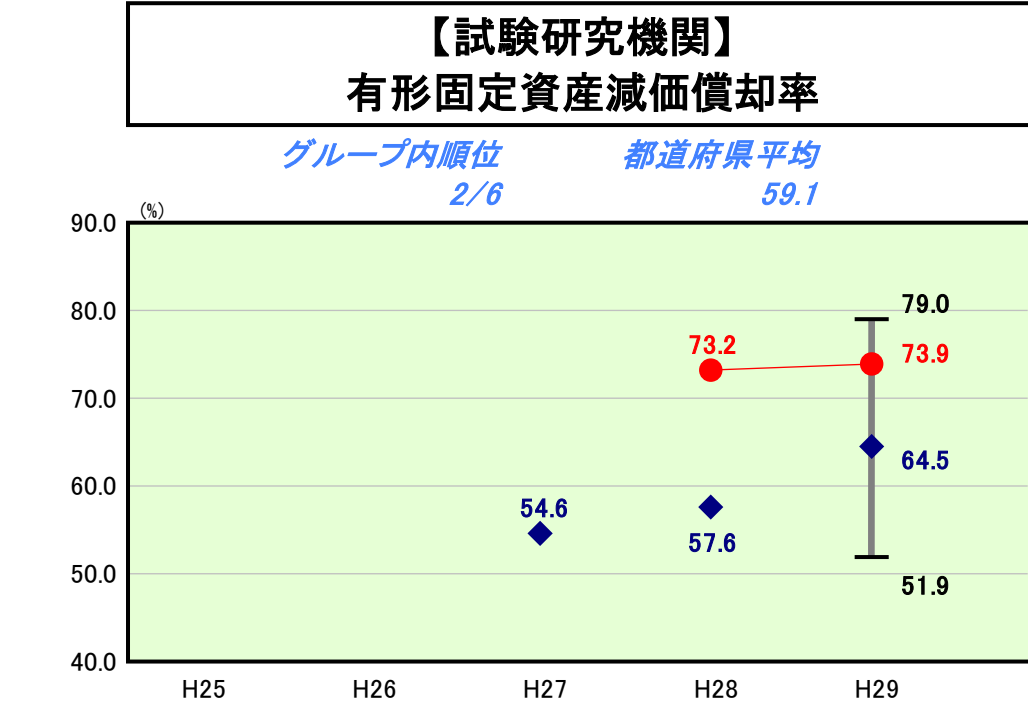
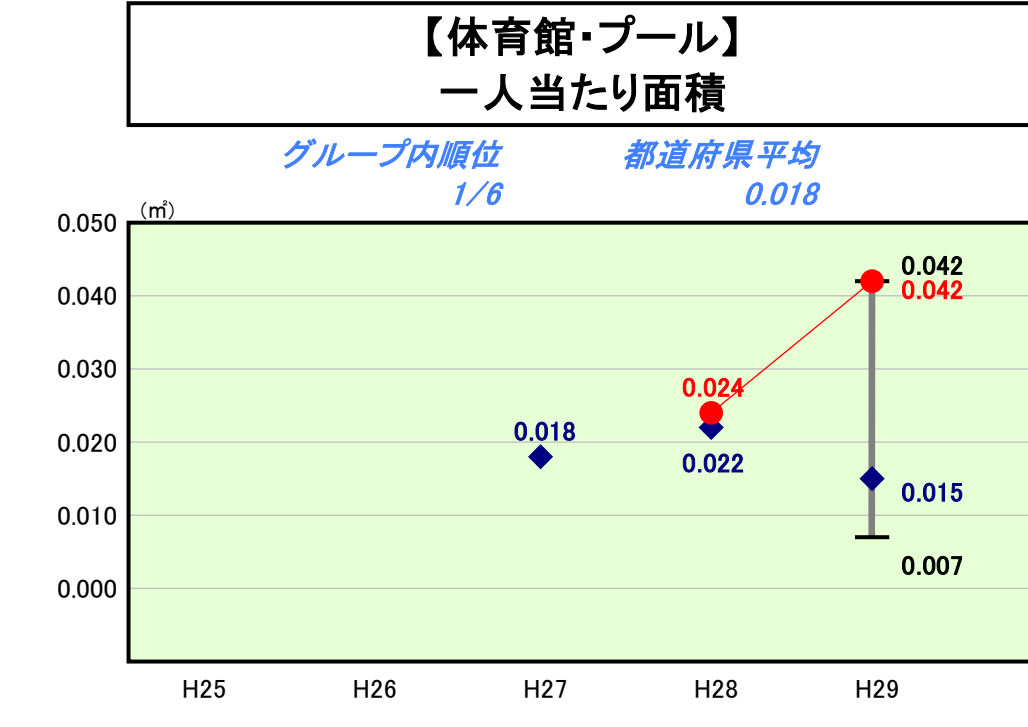
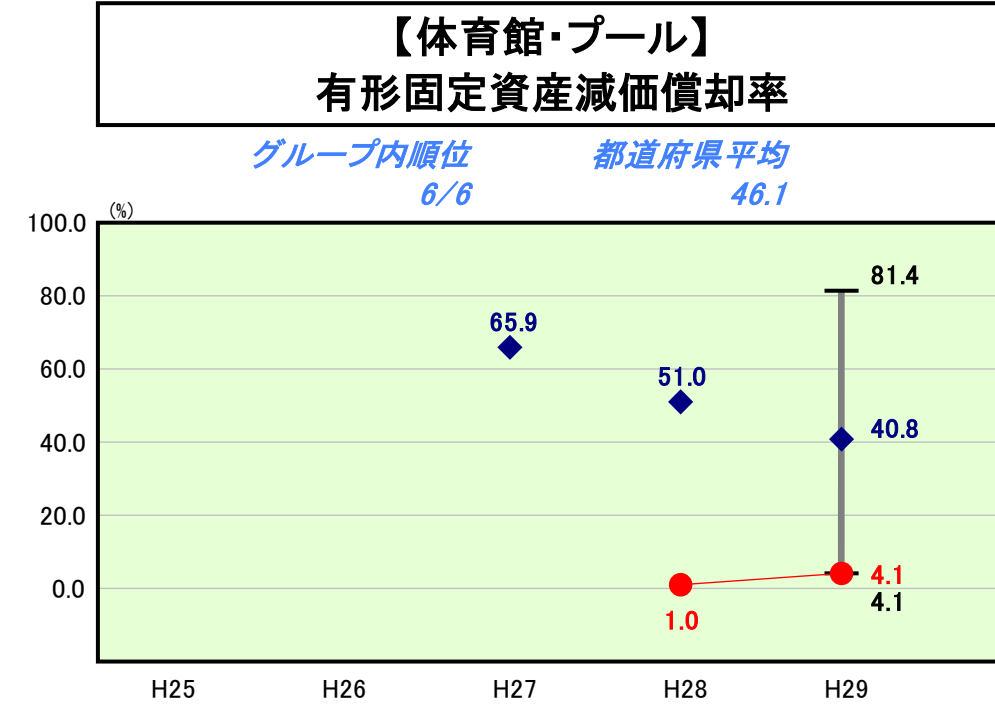
平成29年度

福井県

人口	790,758人	(H30.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	777,330人	(H30.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	4,190.51	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	13.3	%
歳入総額	461,396,606	千円	実質負担比率	169.2	%
歳出総額	451,217,611	千円	グループ	H25 D H26 D H27 D	
実質収支	3,765,325	千円	(年度毎)	H28 D H29 C	
標準財政規模	256,055,887	千円			
地方債現在高	819,458,666	千円			



※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。  
 ( Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満 )  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合グループ内順位を表示しない。



**施設情報の分析欄**

ほとんどの類型において、有形固定資産減価償却率は類似団体平均を上回っているものの、体育館・プールおよび県民会館については類似団体平均を下回っている。これは、国民体育大会の開催に向けて県営体育館等を整備したこと等によるものである。当県では令和元年度末までにすべての公共施設等について個別設計画を策定する予定であり、老朽化しつつある施設の集約化や複合化、除却について方針を検討していく。